

インクジェットプリンター（複合機）

PX-M7120F/PX-M7120FP

EPSON

インクジェットプリンター

PX-S7120/PX-S7120P

使い方ガイド

- 本書は製品の近くに置いてご活用ください。
- プリンターのイラストはオプションを装着した状態です。



基本情報

各部の名称（PX-M7120F/PX-M7120FP）	3
各部の名称（PX-S7120/PX-S7120P）	5
操作パネルの使い方（PX-M7120F/PX-M7120FP）	6
操作パネルの使い方（PX-S7120/PX-S7120P）	8

準備

セットアップ	9
印刷用紙のセット	17
原稿のセット（PX-M7120F/PX-M7120FP）	23
アドレス帳の登録（PX-M7120F/PX-M7120FP）	25

操作の流れ

コンピューターからの印刷の流れ	26
コピー操作の流れ（PX-M7120F/PX-M7120FP）	28
スキャン操作の流れ（PX-M7120F/PX-M7120FP）	30
ファクス操作の流れ（PX-M7120F/PX-M7120FP）	32

消耗品の交換

困ったときは

マニュアルのご案内



epson.sn (ウェブサイト)

全てのサポート情報は以下にアクセス！



epson.sn

(製品名を入力)



セットアップ	サポート
ソフトウェアのダウンロードができます。	全てのマニュアルの最新版が閲覧できます。



ユーザーズガイド (HTML版)

プリンターの使い方や困ったときの対処方法を詳しく説明しています。

XXXXXXXXXX Series
ユーザーズガイド

Q 検索

知りたい情報のキーワードを入力！

紙詰まり

Q 検索

本書「操作の流れ」－「便利な機能」に掲載の検索コード（#000）を入力！

該当ページを一発で表示できます。

#003

Q 検索

□ 本書内のマークの意味

⚠ 注意

この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が傷を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

! 重要

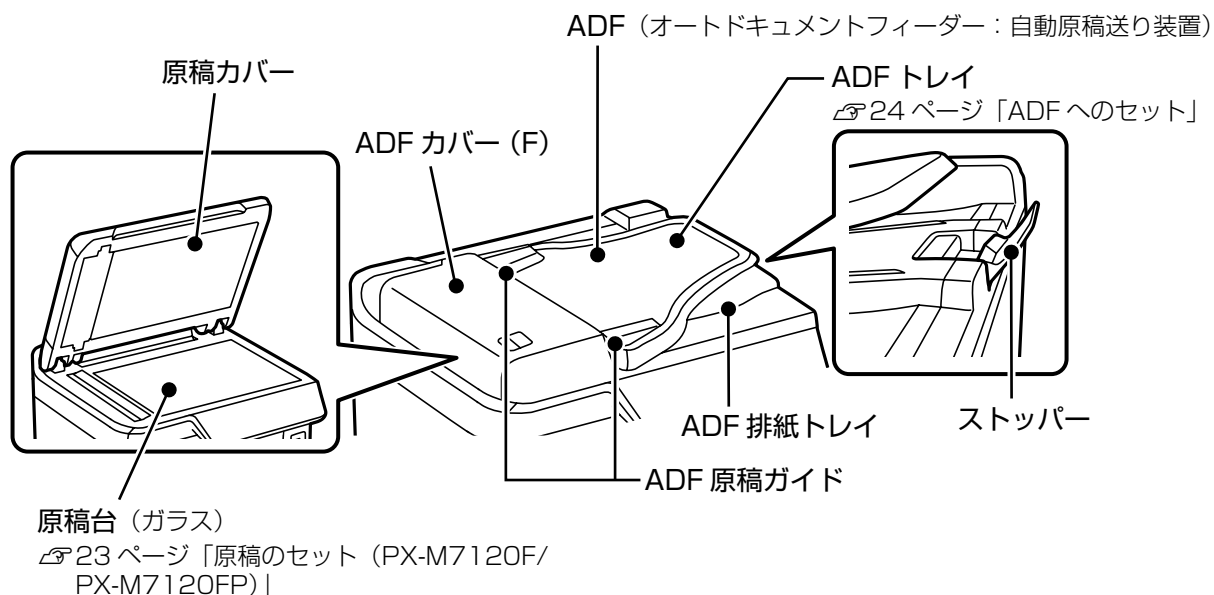
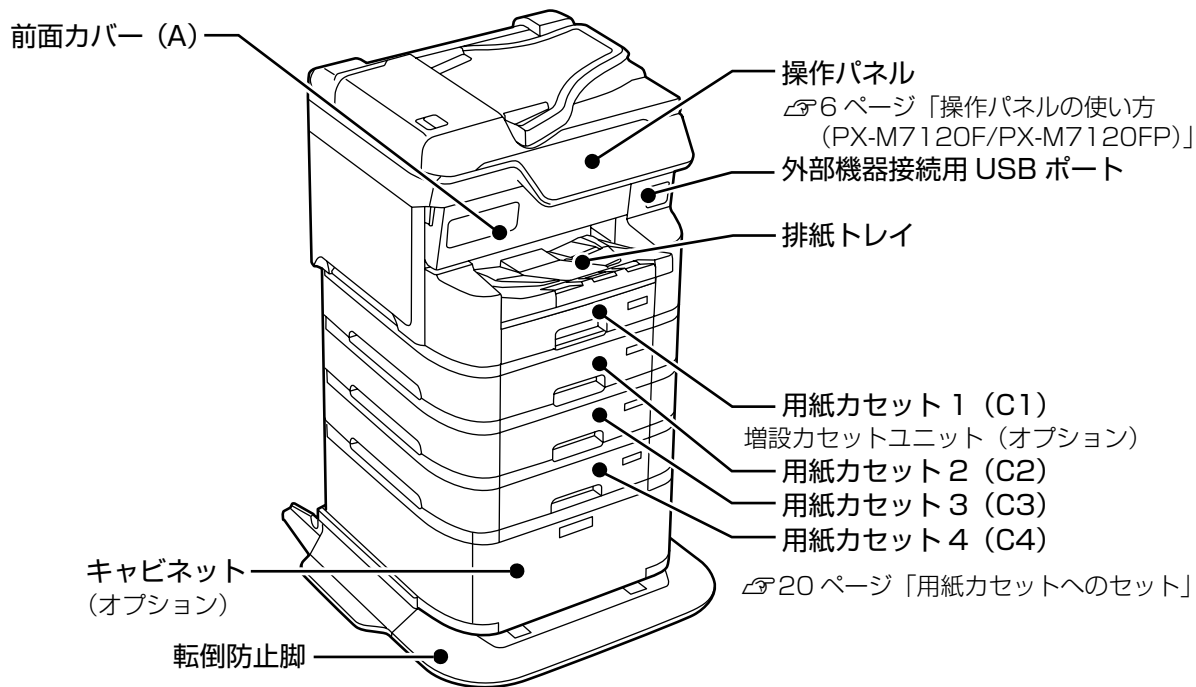
必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

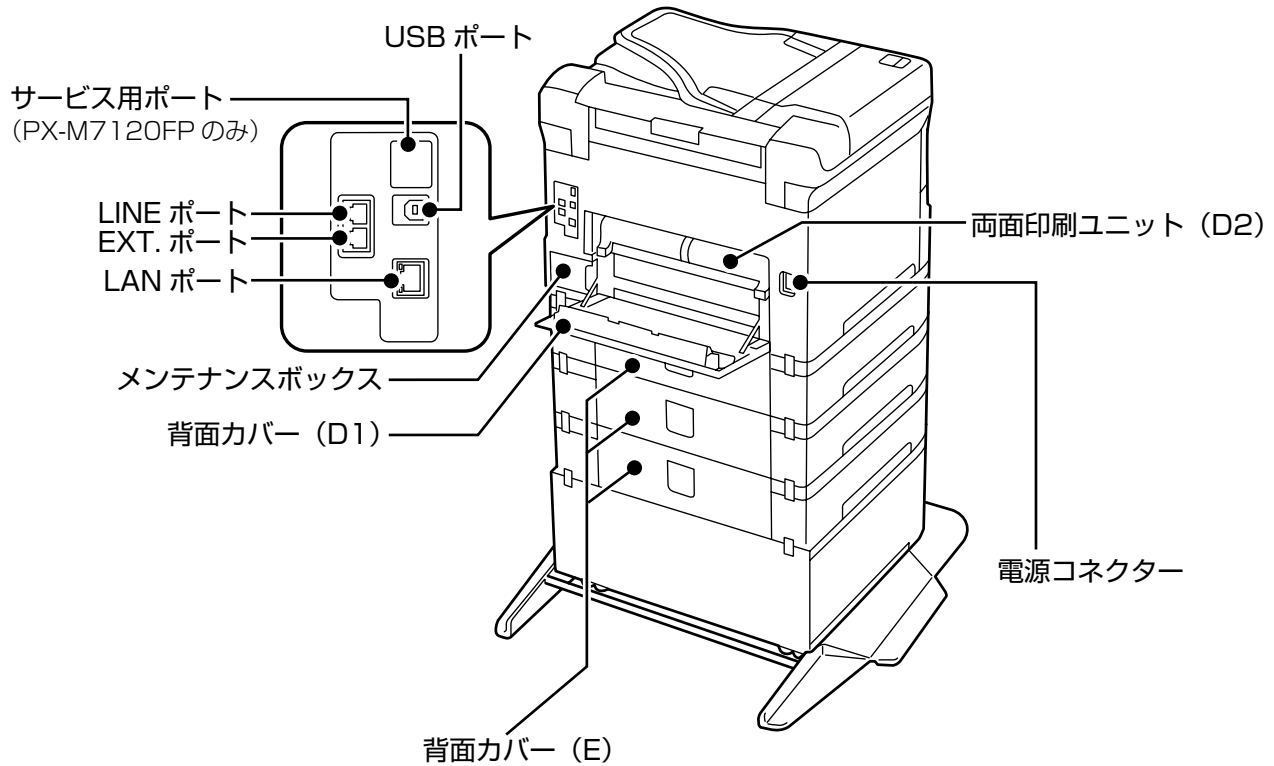
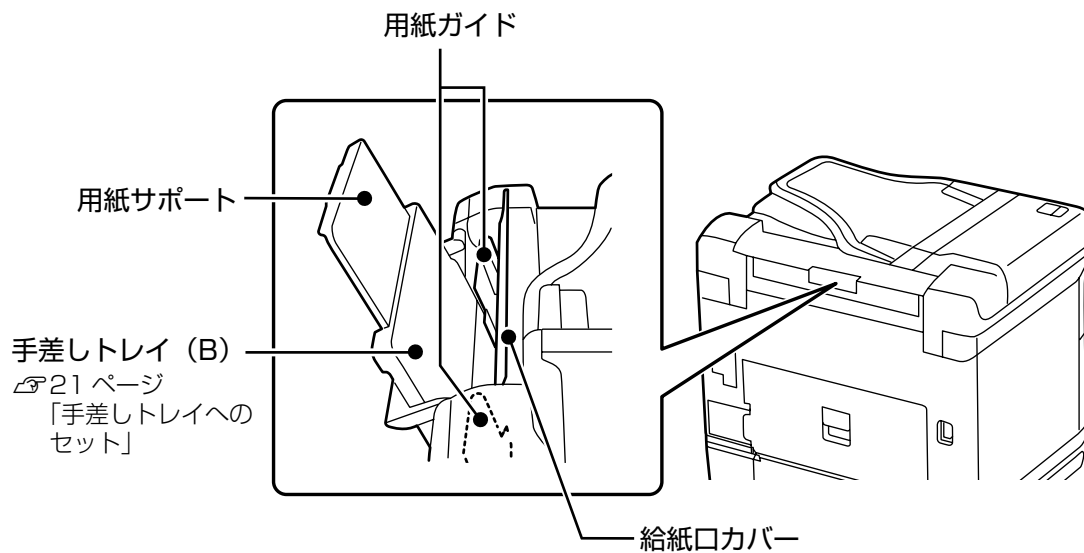
□ ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適切に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

各部の名称 (PX-M7120F/PX-M7120FP)

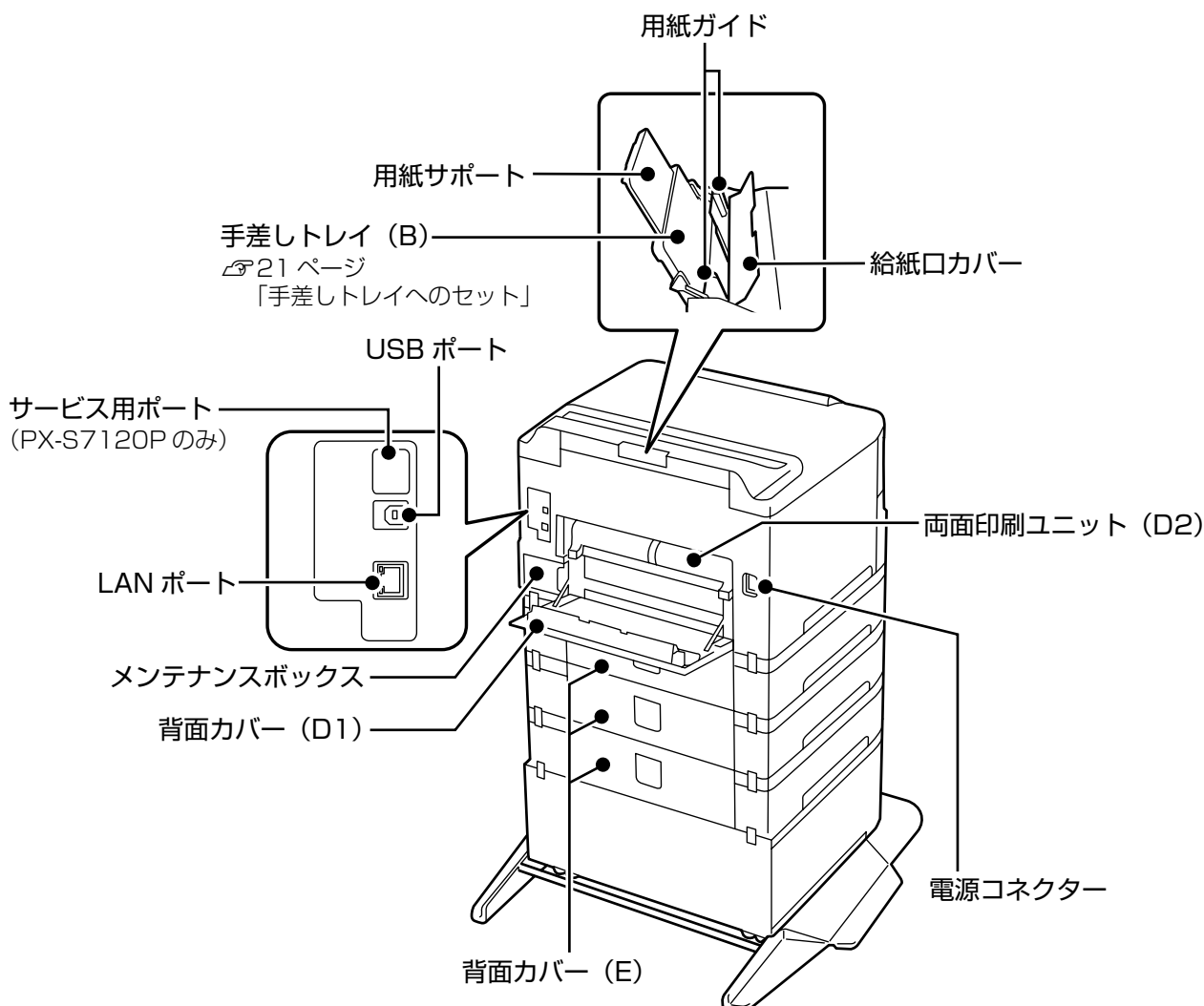
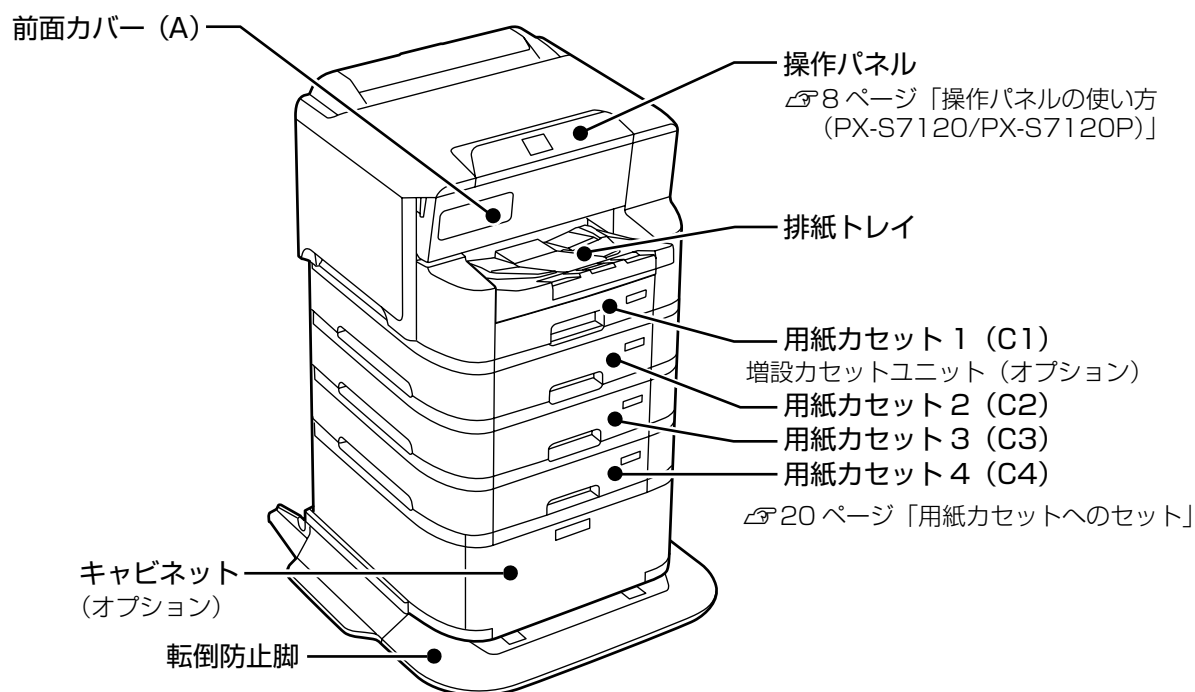
詳しくは『ユーザーズガイド』（Web）の「各部の名称と働き」をご覧ください。





各部の名称 (PX-S7120/PX-S7120P)

詳しくは『ユーザズガイド』(Web) の「各部の名称と働き」をご覧ください。

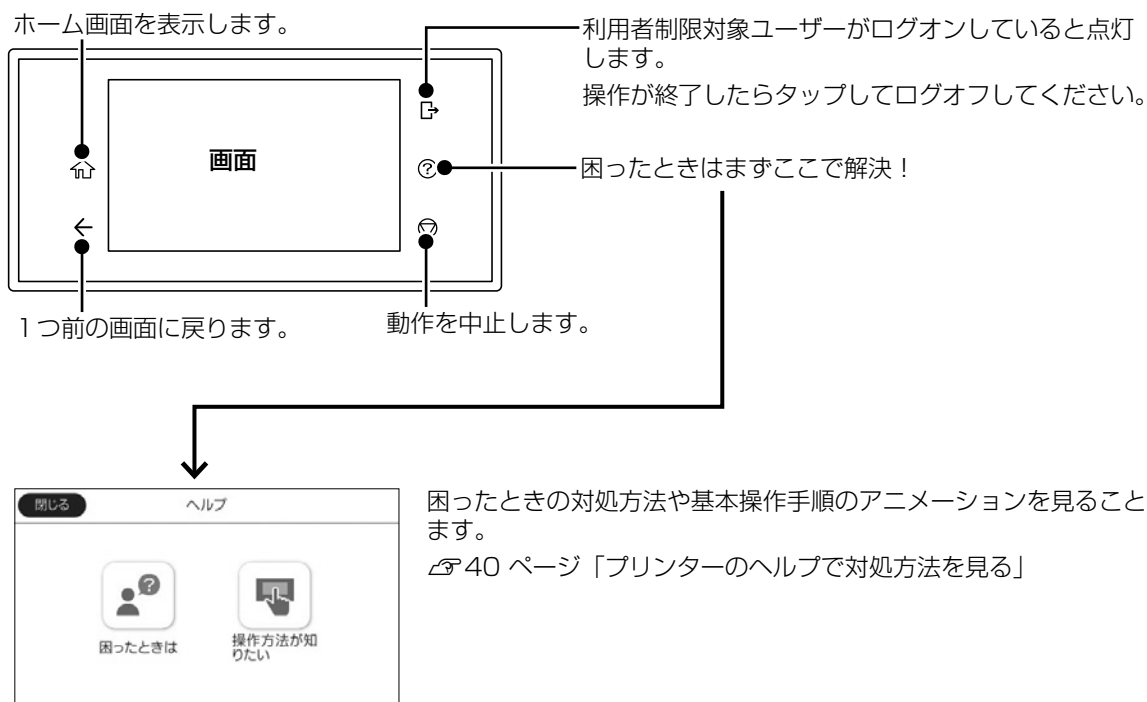
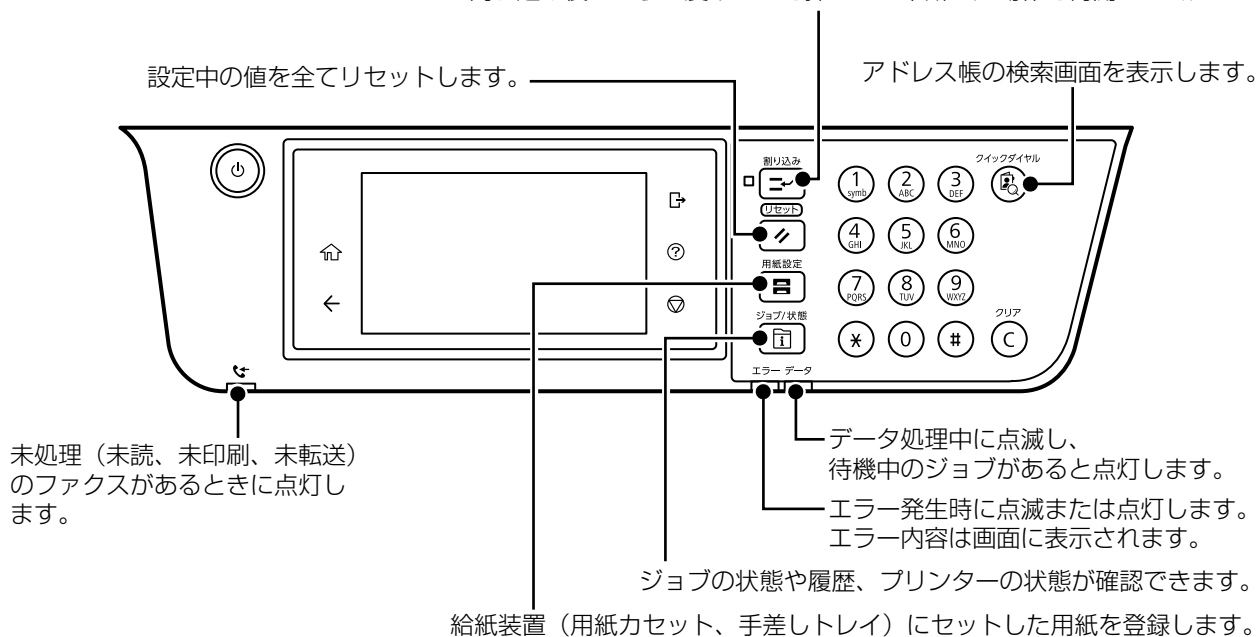


操作パネルの使い方 (PX-M7120F/PX-M7120FP)

操作ボタンとランプ

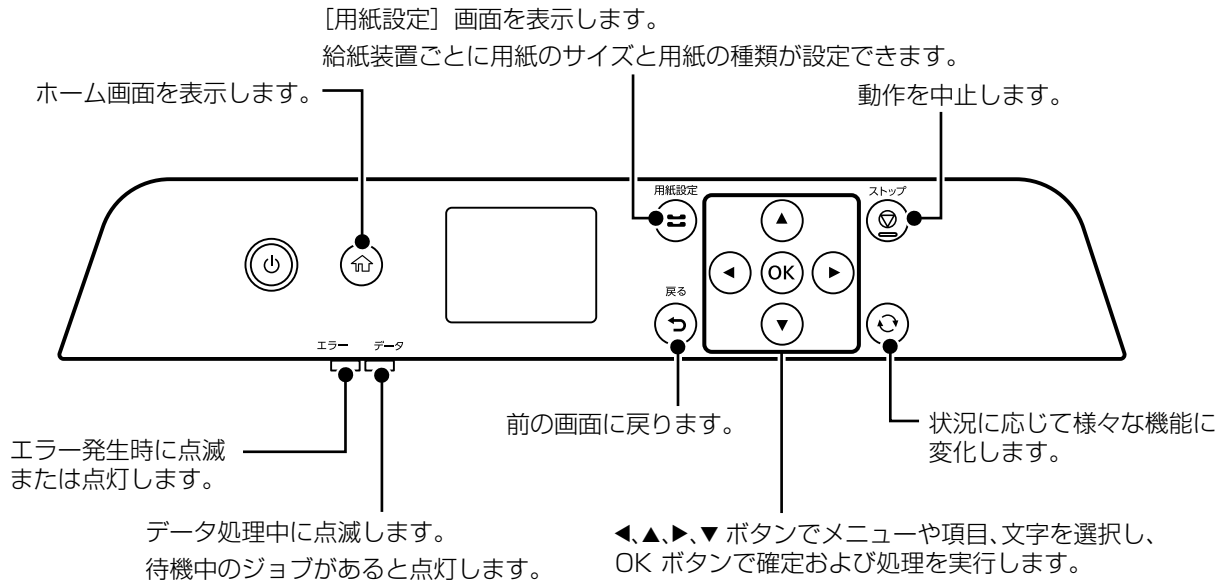
実行中の印刷ジョブを中断し、プリンターが受信済みの印刷ジョブやコピーを割り込んで実行できます。

割り込み後はもう一度ボタンを押して、中断した動作を再開してください。

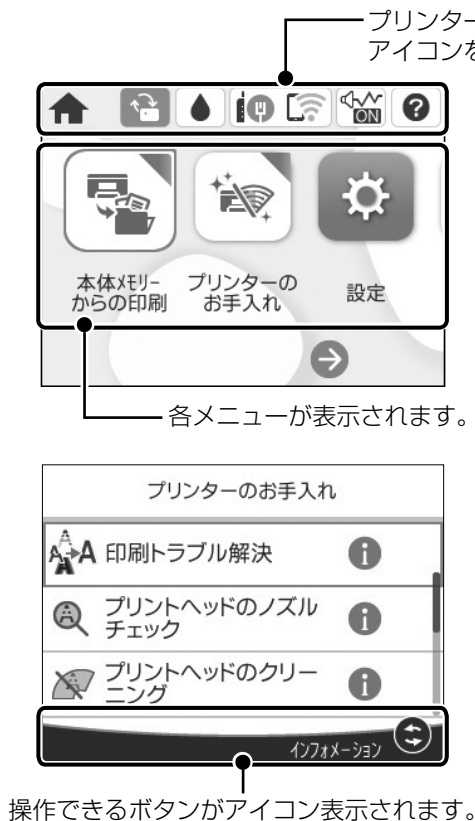


操作パネルの使い方 (PX-S7120/PX-S7120P)

操作ボタンとランプ



画面の見方と使い方



	ファームウェアの [通知設定] が有効の場合、新しいファームウェアがあるときに表示されます。
	インク残量とメンテナンスボックス空き容量の目安が確認できます。 空き容量 メンテナンスボックス 空き容量 廃インク量
	ネットワークの接続状態を示しています。
	[動作音低減モード] の設定状態を示しています。
	困ったときの対処方法やアニメーションで基本操作手順を見ることができます。 40 ページ「プリンターのヘルプで対処方法を見る」 困ったときは 操作方法が知りたい
	補足情報があるときに表示されます。項目を選択し、 ボタンを押すと補足情報が確認できます。

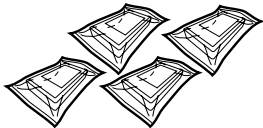
セットアップ

1. 準備

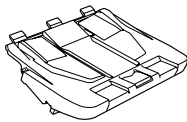
□ 付属品の確認

不足や破損しているものがあるときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- セットアップ用インクカートリッジ（4個）



- 電源コード
- 排紙トレイ



- 保証書
- 使い方ガイド（本書）
- 製品使用上のご注意（シート）

必要に応じて準備する

- USB2.0 または 3.0 ケーブル（A-B または C-B コネクター）プリンターとコンピューターを直接接続してお使いになるには、市販の USB ケーブルが必要です。



- RJ-11（6 極 2 芯）のモジュラーケーブル（PX-M7120F/PX-M7120FP のみ）

プリンターに電話回線やお手持ちの電話機を接続してお使いになるには、市販のモジュラーケーブルが必要です。

□ ウェブサイトにアクセス

epson.sn（ウェブサイト）では、プリンターのセットアップから接続まで一連の流れでサポートします。

- ① インターネットブラウザに
 <https://epson.sn> と
 入力してサイトを開く



- ② 製品名を入力して **Q** をクリックする
- ③ [セットアップ] をクリックして、画面の指示に従う

※ファクスを使用する場合は、13 ページ「6. ファクスの初期設定（PX-M7120F/PX-M7120FP のみ）」以降をご覧ください。詳細な設定方法が確認できます。（PX-M7120F/PX-M7120FP のみ）

2. プリンターの設置

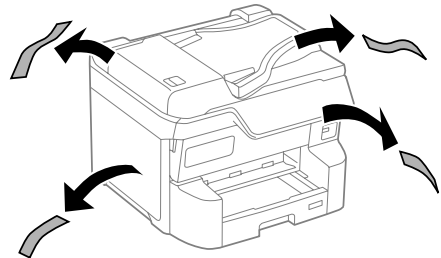
⚠ 注意

本製品はイラストで示す部分に手を掛け、2人以上で持ち上げてください。



1 テープ（青色）を全て取り外す

保護材の形状や個数、貼付場所などは予告無く変更されることがあります。

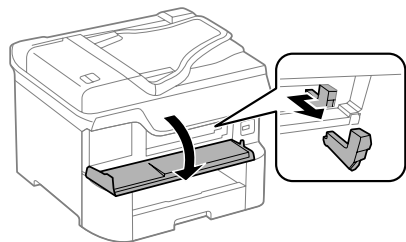


（イラストは PX-M7120F）

! 重要

パネル表面のシートは必ず剥がしてください。また保護フィルムなどはパネルに貼らないでください。光学式タッチパネルのため反応しなくなります。

2 前面カバーを開いて、プリンター内部の保護材を取り除きます。



（イラストは PX-M7120F）

増設カセットとキャビネットは別売りです。取り付けない場合は手順 3 に進んでください。

増設カセットユニットは 3 段取り付けることができます。取り付け手順は、『ユーザーズガイド』（Web）をご覧ください。

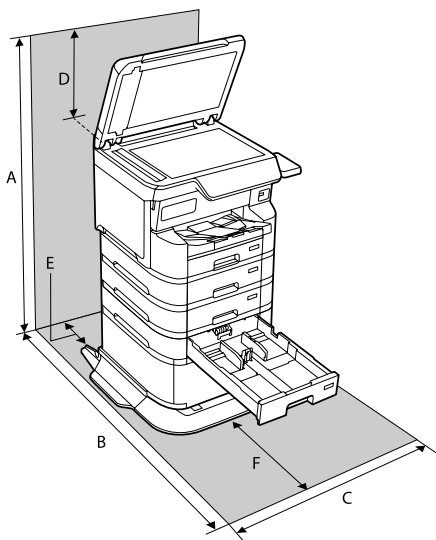
取り付け後、プリンタードライバーで増設カセットの設定が必要です。

3 プリンターを設置する

設置時の注意

- 製品本来の性能を発揮するため、直射日光が当たる場所や冷暖房器具、加湿器の近くに設置しないでください。
- 本製品をお使いいただくために必要なスペースを確保してください。

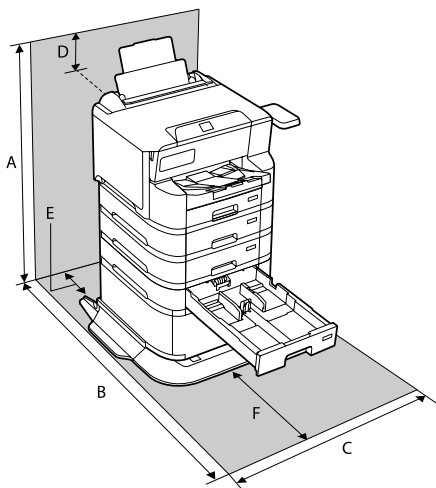
【PX-M7120F/PX-M7120FP の場合】



A	1498 mm	D	436 mm
B	1147 mm	E	59 mm
C	772 mm*	F	291 mm

* : PX-M7120FP の認証台取り付け時は 780 mm

【PX-S7120/PX-S7120P の場合】

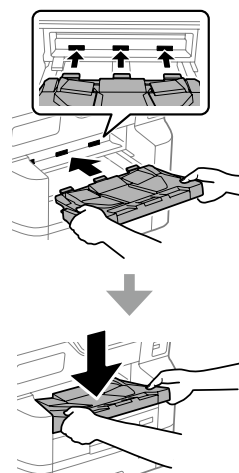


A	1234 mm	D	182 mm
B	1147 mm	E	59 mm
C	772 mm*	F	291 mm

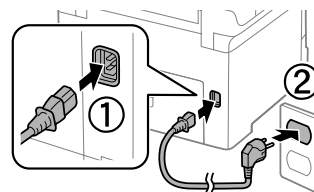
* : PX-S7120P の認証台取り付け時は 780 mm

- その他の注意は、『製品使用上のご注意』（シートマニュアル）をご覧ください。

4 排紙トレイを取り付ける



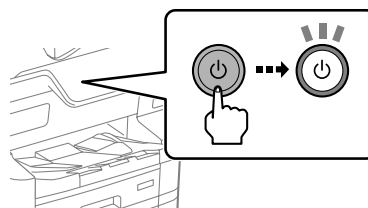
5 電源コードを本体とコンセントに差し込む



⚠ 警告

AC100V 以外の電源は使用しないでください。

6 電源ボタンを押す



エラーが発生したら

電源を切って、保護材などの取り忘れがないことを確認してから、電源を入れてください。

7 画面の指示に従って日時を設定する

【PX-M7120F/PX-M7120FP の場合】

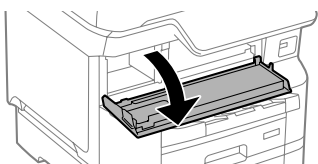


【PX-M7120F/PX-M7120FP の場合】

日付表示形式
年.月.日
月.日.年
日.月.年

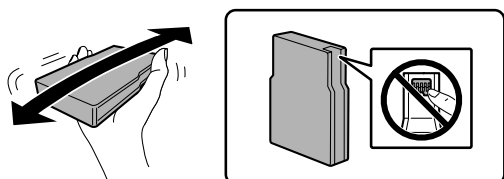
3. 付属のセットアップ用インクカートリッジ(4色全て)のセット

1 前面カバーを開ける

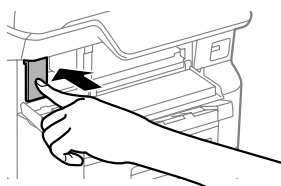


2 インクカートリッジを袋から取り出し、水平に振る

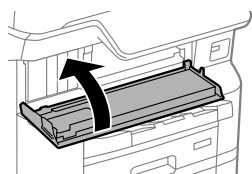
5秒間 15回 10cm 幅程度でよく振ります。



3 インクの記号を確認して挿入し、しっかりと押し込む(4色全て)



4 前面カバーを閉めて、画面に従いインク充填を始める



!重要

充填が終了するまで電源を切ったりカバーなどを開けたりしないでください。



- きれいに印刷できるかはノズルチェックで確認できます。
- 購入直後のインク初期充填では、プリントヘッドノズル(インクの吐出孔)の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は2回目以降に取り付けるインクカートリッジよりも印刷できる枚数が少なくなることがあります。
- カタログなどで公表されている印刷コストは、JEITA(社団法人電子情報技術産業協会)のガイドラインに基づき、2回目以降のインクカートリッジで算出しています。

4. 用紙のセット

20 ページを参照して用紙をセットしてください。
☞ 20 ページ「用紙カセットへのセット」

5. 電話回線の接続 (PX-M7120F/PX-M7120FPのみ)

ファクスを使用しない場合は、14 ページ「7. プリンターとデバイスの接続」へ進んでください。

電話回線の状況、地域などの条件によって接続できないことがあるため、必ず、接続機器のマニュアルを参照してください。

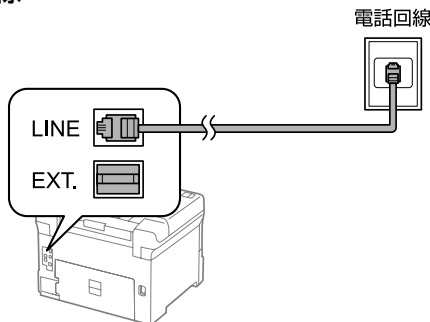
！重要

- 外付け電話機を接続するときのみ EXT. ポートのキャップを取り外してください。
- 電話線を分岐して電話機とプリンターを接続するなどのブランチ接続はしないでください。
- 落雷が頻繁に発生する地域では、サージプロテクターのご使用をおすすめします。

① プリンターと電話回線を接続する

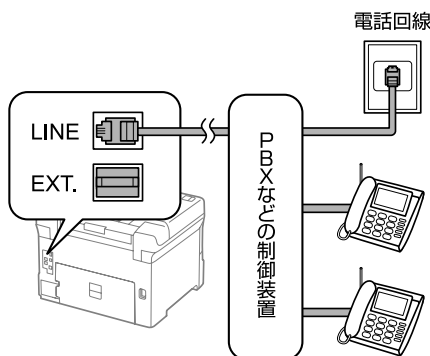
接続方法を選んで、図のとおりお手持ちの 6 極 2 芯 (RJ-11) のモジュラーケーブルを接続してください。

一般回線



構内交換機 (PBX)

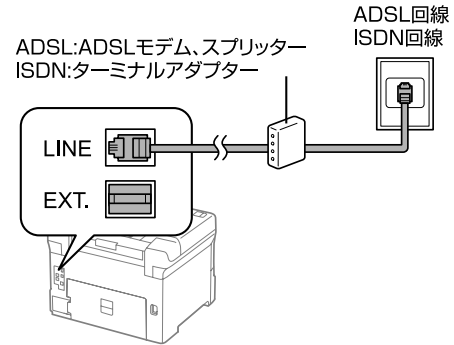
構内交換機を使った内線電話をご利用のときは、電話回線と本製品の間には PBX などの制御装置があります。



ADSL/ISDN

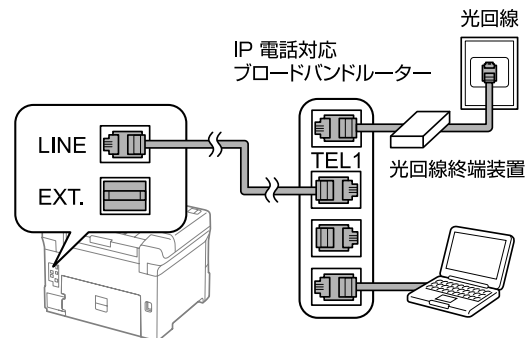
ADSL 環境で使用するときには ADSL モデム (別にスプリッターが必要な場合もあります)。ISDN 回線で使用するときはターミナルアダプターに接続してください。

設定の詳細はモデムまたはターミナルアダプターのマニュアルをご覧ください。



光回線

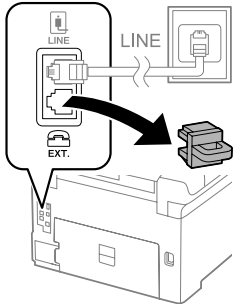
光回線で使用するときは IP 電話対応のブロードバンドルーターに接続します。設定の詳細はご契約の回線業者様に確認してください。



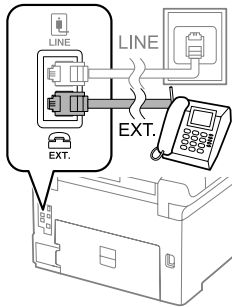
2 回線契約していないときは必ずルーターの TEL 1 (ポート名称はルーターにより異なります。A や 1 などの先頭の番号に) 接続してください。

② 1つの電話回線でファクスも電話も使用する
場合：プリンターとお手持ちの電話機を
接続する

1 プリンターのEXT.ポートからキャップを外す



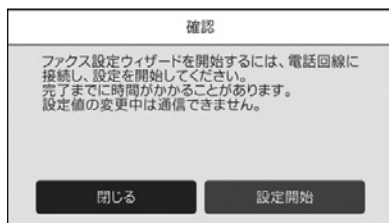
2 プリンターと電話機をモジュラーケーブルで
接続する



6. ファクスの初期設定 (PX-M7120F/PX-M7120FPのみ)

用紙をセットすると以下の画面が表示されます。[設定開始] をタップして設定を開始します。

すぐに設定しない場合は [閉じる] をタップしてください。この画面は初回のファクスモード起動時に、再度表示されます。



1 送信元の名前を入力する

文字の入力方法は 25 ページ「文字の入力方法」をご覧ください。

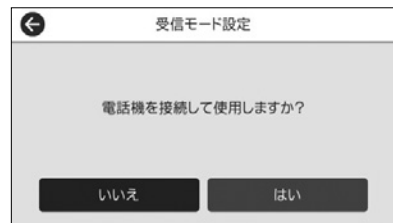


2 発信元番号を入力する



発信元の名前と番号は、送信ファクスのヘッダー情報になります。

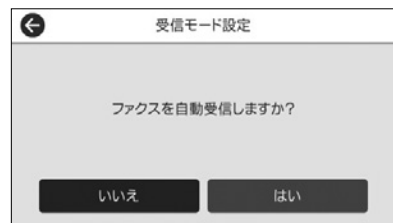
3 プリンターに電話機を接続して使用するかどうか選択する



[いいえ] を選択すると、ファクスは自動で受信されます。

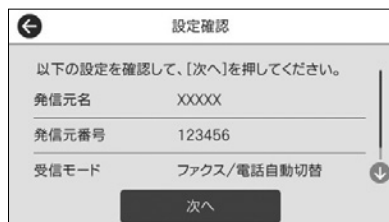
4 ファクスの受信方法を選択する

(手順 3 で [はい] を選んだ場合のみ)



[いいえ] を選択すると、ファクスを手動で受信します。[はい] を選択すると、ファクスと電話を自動で判別して、ファクスのみ受信します。

- 5 設定内容を確認して、次へ進む
修正するときは ← で戻ります。



- 6 設定内容を診断する
[診断開始] をタップします。

- 7 診断結果を印刷する
[印刷開始] をタップします。

レポートにエラーが表示されたら、レポートの指示に従って対処してください。プリンターの画面にメッセージが表示されたら、画面の指示に従って対処してください。

- 8 設定を終了する
表示された画面で [終了] をタップします。

7. プリンターとデバイスの接続

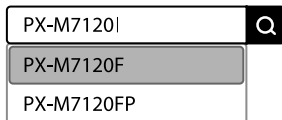
コンピューターやスマートデバイスから印刷するために必要な作業です。コンピューターは、USB ケーブルまたはネットワーク（無線 LAN・有線 LAN）経由でプリンターと接続できます。epson.sn から接続済みの場合は、本作業は不要です。

- 1 インターネットブラウザで下記 URL を入力してサイトを開く

<https://epson.sn>



- 2 製品名を入力して 🔍 をクリックする



- 3 [セットアップ] をクリックし、画面の指示に従って作業を進める

プリンターモニタリングサービスの設定

同梱の『プリンターモニタリングサービスのご案内』に記載のサービスをご利用になる場合は [プリンターモニタリングサービス設定] を有効にします。

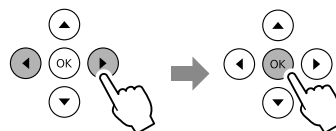
！重要

事前にネットワーク接続を完了し、インターネットに接続している必要があります。

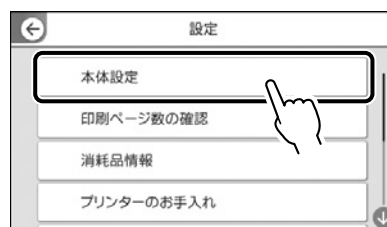
- 1 [設定] を選択する
【PX-M7120F/PX-M7120FP の場合】



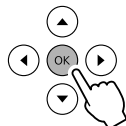
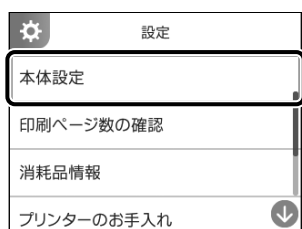
【PX-S7120/PX-S7120P の場合】



- 2 [本体設定] を選択する
【PX-M7120F/PX-M7120FP の場合】

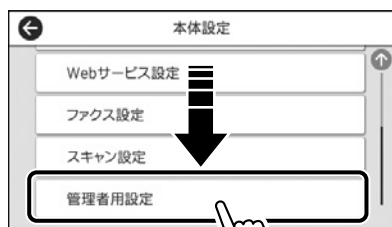


【PX-S7120/PX-S7120P の場合】

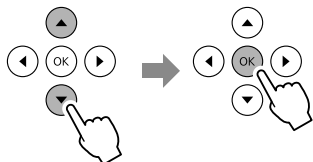
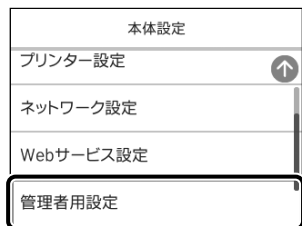


3 【管理者用設定】を選択する

【PX-M7120F/PX-M7120FP の場合】



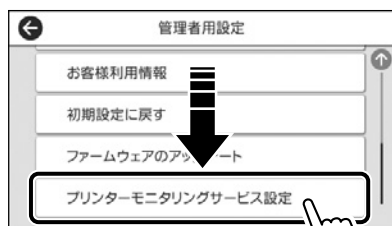
【PX-S7120/PX-S7120P の場合】



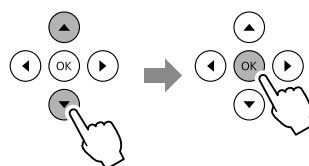
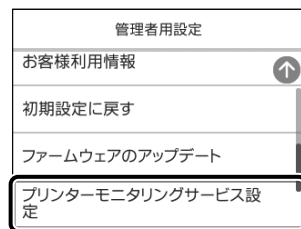
パスワード入力画面が表示された場合は、管理者パスワードを入力し、【決定】を選択してください。

4 【プリンターモニタリングサービス設定】を選択する

【PX-M7120F/PX-M7120FP の場合】

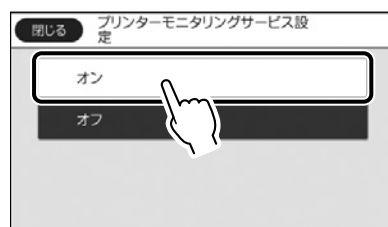


【PX-S7120/PX-S7120P の場合】

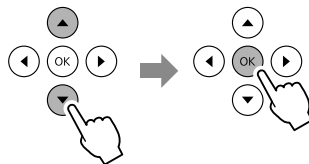


5 【オン】を選択する

【PX-M7120F/PX-M7120FP の場合】

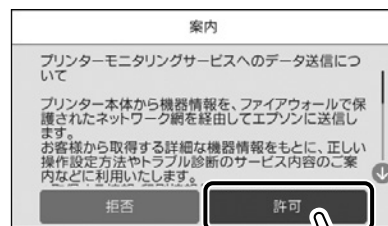


【PX-S7120/PX-S7120P の場合】

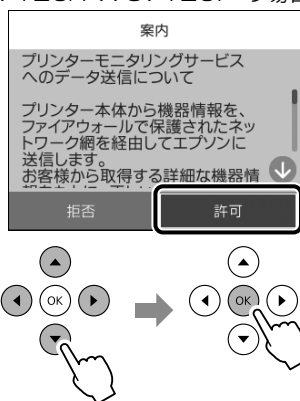


6 案内の内容を確認して【許可】を選択する

【PX-M7120F/PX-M7120FP の場合】



【PX-S7120/PX-S7120P の場合】



7 ホーム画面に「本体情報を送信」メニューが表示されていることを確認する

サービスがご利用になれます。

【PX-M7120F/PX-M7120FP の場合】



【PX-S7120/PX-S7120P の場合】



印刷用紙のセット

対応用紙とセット可能枚数・設定

以下は 2024 年 6 月現在の情報です。「カセット 2～4」はオプションです。

□ エプソン製専用紙（純正品）

きれいに印刷するために、用紙のパッケージやマニュアルなどに記載されている環境で使用してください。

文書の印刷に適する用紙

用紙名称	用紙サイズ	セット可能枚数			用紙種類 (操作パネル)
		カセット 1	カセット 2～4	手差しトレイ	
ビジネス普通紙	A3 ノビ	-	-	50	ビジネス普通紙
	A3、A4	250*	500*	85	
両面上質普通紙 <再生紙>	A3、A4	200*	400*	40	普通紙
インクジェット普通紙	A5	250*	500*	85	ビジネス普通紙

*：用紙ガイドの▼マークが示す線までセット可能

文書と写真の印刷に適する用紙

用紙名称	用紙サイズ	セット可能枚数			用紙種類 (操作パネル)
		カセット 1	カセット 2～4	手差しトレイ	
スーパーファイン紙	A3 ノビ、A3	-	-	50	スーパーファイン紙
	A4	-	-	70	
フォトマット紙	A3 ノビ、A3	-	-	10	フォトマット紙
	A4	-	-	20	

写真の印刷に適する用紙

用紙名称	用紙サイズ	セット可能枚数			用紙種類 (操作パネル)
		カセット 1	カセット 2～4	手差しトレイ	
写真用紙クリスピー <高光沢>	A3 ノビ、A3、四切	-	-	10	写真用紙クリスピー
	A4、六切、2L 判、 KG サイズ、L 判	-	-	20	
写真用紙<光沢>	A3 ノビ、A3、四切	-	-	10	写真用紙
	A4、六切、2L 判、 ハイビジョン、KG サイズ、 L 判	-	-	20	
写真用紙<絹目調>	A3 ノビ、A3	-	-	10	写真用紙
	A4、2L 判、L 判	-	-	20	
写真用紙ライト <薄手光沢>	A3 ノビ、A3	-	-	10	写真用紙ライト
	A4、2L 判、KG サイズ、 L 判	-	-	20	

準備

年賀状や挨拶状の印刷に適する用紙

用紙名称	用紙サイズ	セット可能枚数			用紙種類 (操作パネル)
		カセット 1	カセット 2～4	手差しトレイ	
スーパーファイン専用 ハガキ	ハガキ	-	-	30	宛名面：郵便ハガキ 通信面：スーパー ファイン紙
写真用紙<絹目調> ハガキ	ハガキ	-	-	20	宛名面：郵便ハガキ 通信面：写真用紙
PM マットハガキ	ハガキ	-	-	20	宛名面：郵便ハガキ 通信面：フォトマッ ト紙

その他の用紙

用紙名称	用紙サイズ	セット可能枚数			用紙種類 (操作パネル)
		カセット 1	カセット 2～4	手差しトレイ	
スーパーファイン専用 ラベルシート	A4	-	-	1	スーパーファイン紙
両面マット名刺用紙*	A4	-	-	1	両面マット名刺用紙
長尺用紙 (LPCCJY2)	297 × 1200 mm	-	-	1	厚紙 1

*： 両面マット名刺用紙のレイアウトに対応したアプリケーションソフトが必要です。

市販の印刷用紙

普通紙

用紙名称	用紙サイズ	セット可能枚数			用紙種類 (操作パネル)
		カセット 1	カセット 2～4	手差しトレイ	
コピー用紙 事務用普通紙 レターヘッド 再生紙 色つき用紙 プレプリント用紙*1	A3 ノビ	-	-	50	普通紙 レターヘッド 再生紙 色つき プレプリント
	A3、B4	250*2	500*2	50	
	A4、A5、B5、 US B (11 × 17 in.)*3、 Legal、Letter、 Executive*3、 16K (195 × 270 mm)*4*5、 8K (270 × 390 mm)*4*5	250*2	500*2	85	
	A6、B6	250*2	-	85	
	ユーザー定義サイズ	『ユーザーズガイド』参照			

*1： 帳票など、あらかじめ定型書式が印刷された用紙

*2： 用紙ガイドの▼マークが示す線までセット可能

*3： プリンタードライバーからの印刷は非対応

*4： PX-S7120/PX-S7120P は非対応

*5： プリンタードライバー、PostScript プリンタードライバー (PX-M7120FP のみ) からの印刷は非対応

厚紙

用紙名称	用紙サイズ	セット可能枚数			用紙種類 (操作パネル)
		カセット1	カセット2～4	手差しトレイ	
厚紙 (91～150 g/m ²)	A3 ノビ	-	-	20	厚紙 1
	A3、B4、 US B (11 × 17 in.) ^{*1} 、 8K (270 × 390 mm) ^{*2*3}	150 ^{*4}	250 ^{*4}	20	
	Legal	150 ^{*4}	250 ^{*4}	40	
	A4、A5、B5、Letter、 Executive ^{*1} 、 16K (195 × 270 mm) ^{*2*3}	150 ^{*4}	300 ^{*4}	40	
	A6、B6	150 ^{*4}	-	40	
	ユーザー定義サイズ	『ユーザーズガイド』参照			
厚紙 (151～200 g/m ²)	A3 ノビ	-	-	15	厚紙 2
	A3、US B (11 × 17 in.) ^{*1} 、 8K (270 × 390 mm) ^{*2*3}	120 ^{*4}	200 ^{*4}	15	
	B4、Legal	120 ^{*4}	200 ^{*4}	30	
	A4、A5、B5、Letter、 Executive ^{*1} 、 16K (195 × 270 mm) ^{*2*3}	120 ^{*4}	250 ^{*4}	30	
	A6、B6	120 ^{*4}	-	30	
	ユーザー定義サイズ	『ユーザーズガイド』参照			
厚紙 (201～256 g/m ²)	A3 ノビ、A3、B4、 US B (11 × 17 in.) ^{*1} 、 8K (270 × 390 mm) ^{*2*3}	-	-	10	厚紙 3
	A4、A5、A6、B5、B6、 Legal、Letter、 Executive ^{*1} 、 16K (195 × 270 mm) ^{*2*3}	-	-	20	
	ユーザー定義サイズ	『ユーザーズガイド』参照			

*1：プリンタードライバーからの印刷は非対応

*2：PX-S7120/PX-S7120P は非対応

*3：プリンタードライバー、PostScript プリンタードライバー（PX-M7120FP のみ）からの印刷は非対応

*4：用紙ガイドの▼マークが示す線までセット可能

ハガキ（日本郵便株式会社製）

用紙名称	用紙サイズ	セット可能枚数			用紙種類 (操作パネル)
		カセット1	カセット2～4	手差しトレイ	
郵便ハガキ	ハガキ	100	-	30	郵便ハガキ
郵便ハガキ (インクジェット紙)	ハガキ	100	-	30	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便ハガキ (インクジェット紙)
往復ハガキ	往復ハガキ	-	-	15	郵便ハガキ

日本郵便株式会社製の郵便ハガキ（インクジェット写真用）は非対応です。

封筒

用紙名称	用紙サイズ	セット可能枚数			用紙種類 (操作パネル)
		カセット1	カセット2～4	手差しトレイ	
長形封筒 ^{*1}	3号、4号	-	-	10	封筒
角形封筒 ^{*1}	2号、20号	-	-	1	
洋形封筒 ^{*2}	1号、2号、3号、4号	-	-	10	

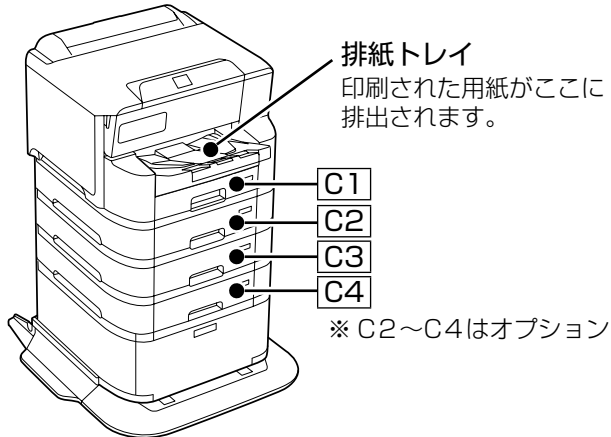
*1：Windows からの印刷のみ対応

*2：宛名面のみ対応

用紙カセットへのセット

定形サイズの普通紙を大量にセットできます。

📖 17 ページ「対应用紙とセット可能枚数・設定」

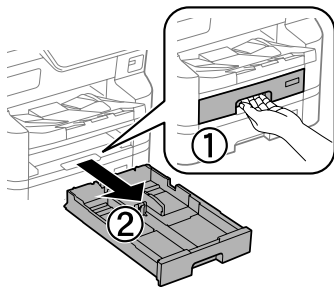


(イラストは PX-S7120)

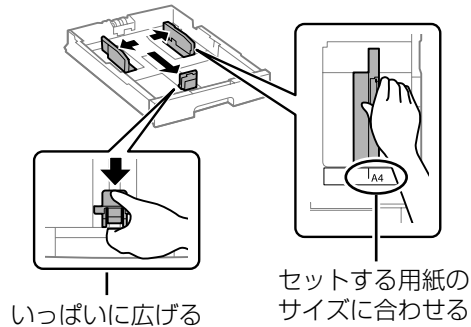
用紙カセット 1 を例に説明します。他のカセットも同じ手順でセットできます。

- 1 プリンターが動作していないことを確認して、用紙カセットを引き抜く

同時に複数のカセットを引き出さないでください。

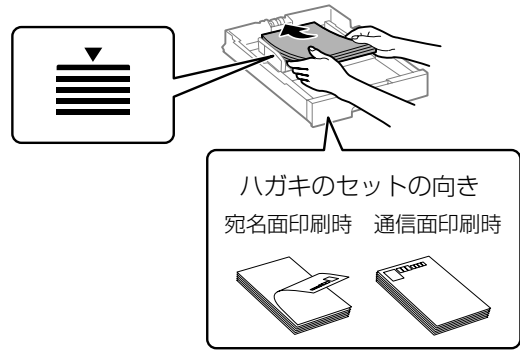


- 2 用紙ガイドを動かす

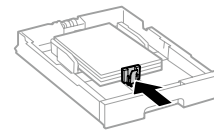


- 3 印刷する面を下にして、用紙を縦長にセットする

普通紙は用紙ガイドの▼マークが示す線を超えてセットしないでください。



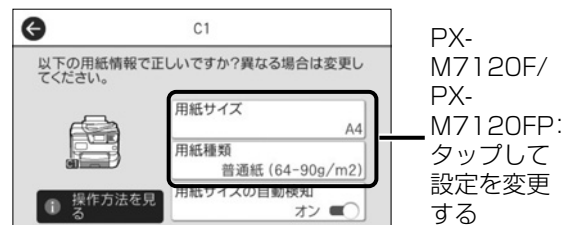
- 4 手前の用紙ガイドを用紙に合わせる



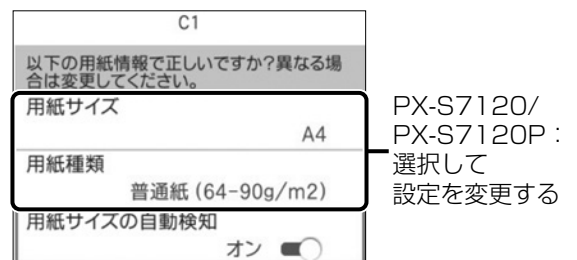
- 5 用紙カセットをプリンターに戻す

- 6 セットした用紙のサイズと種類を画面で設定する

用紙サイズ：A3・B4・A4・B5・A5・B6・ハガキは自動で検知されます。用紙サイズや用紙種類を変更する場合は、操作パネルの用紙設定ボタン (📄) を押して設定してください。



PX-M7120F/
PX-M7120FP:
タップして設定を変更する



PX-S7120/
PX-S7120P:
選択して設定を変更する

!重要

A4 サイズより大きい用紙に印刷する場合は、用紙の落下防止のため、排紙トレイ先端の拡張部を手で引き伸ばしてください。ストッパーを起こすとより効果的です。使用後は手で収納してください。

手差しトレイへのセット

対応している全ての印刷用紙がセットできます。

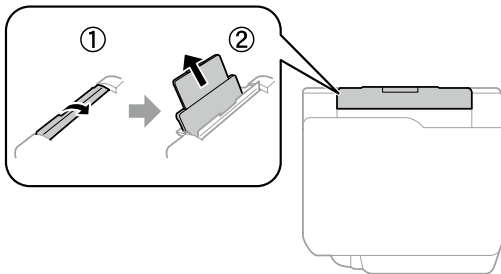
🔗 17 ページ「対应用紙とセット可能枚数・設定」



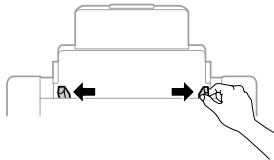
手差しトレイ (B)

(イラストは PX-S7120)

1 給紙口カバーを開けて用紙サポートを引き出す

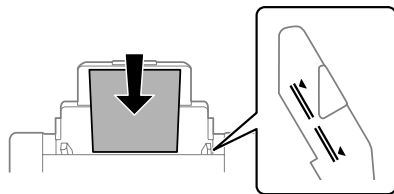


2 用紙ガイドを広げる



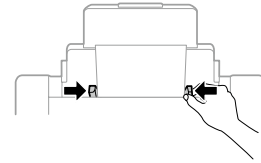
3 印刷する面を手前にして用紙を縦長にセットする

普通紙は用紙ガイドの▼マークが示す線を超えてセットしないでください。

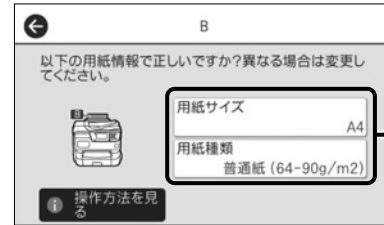


ユーザー定義サイズで、用紙の長辺を用紙幅として設定した用紙は横長にセットしてください。

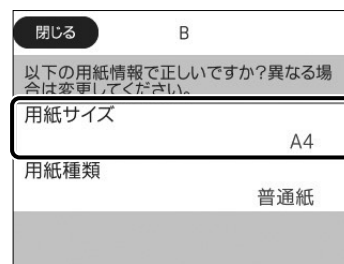
4 用紙ガイドを用紙の端に合わせる



5 セットした用紙のサイズと種類を画面で設定する



PX-M7120F/
PX-M7120FP:
タップして設定を変更する



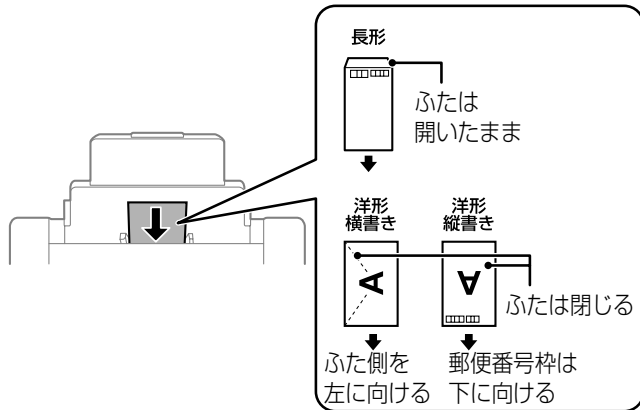
PX-S7120/
PX-S7120P:
選択して設定を変更する

!重要

A4 サイズより大きい用紙に印刷する場合は、用紙の落下防止のため、排紙トレイ先端の拡張部を手で引き伸ばしてください。ストッパーを起すことより効果的です。使用後は手で収納してください。

セット時に注意が必要な用紙

□ 封筒のセット (手差しトレイのみ)



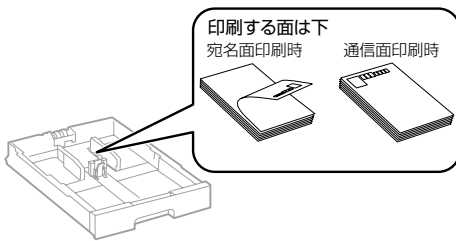
• よくさばいて用紙の端面を整えてください。膨らんでいるときは平らになるように手でならし、膨らみを取り除いてください。



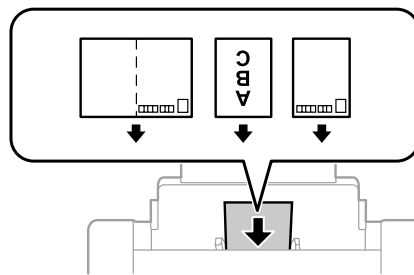
• 窓付き封筒を印刷すると、後から排紙された封筒が窓枠に引っかかり紙詰まりになることがあります。排紙された封筒は1枚ずつ取り除くことをお勧めします。

□ ハガキのセット

用紙カセットにセットする場合



手差しトレイにセットする場合



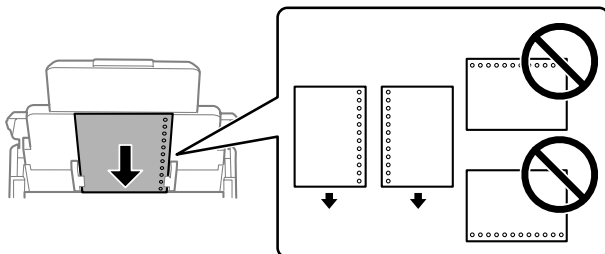
ハガキの両面に印刷する場合は、片面印刷後しばらく乾かし、反りを修正して（平らにして）からもう一方の面に印刷してください。宛名面から先に印刷することをお勧めします。

□ 穴あき用紙のセット

手差しトレイに1枚だけセットできます。

対応サイズ：A3、B4、A4、B5、A5、B6、A6、Letter、Legal

穴位置：上下端部にこないようにセット

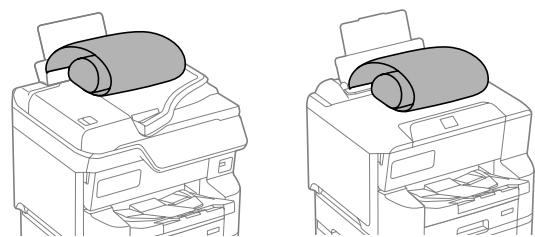


- 印刷データは、穴の位置に印刷されないように余白設定して作成してください。
- 自動両面印刷はできません。

□ 長尺紙のセット

手差しトレイにセットします。

【PX-M7120F/ PX-M7120FPの場合】 【PX-S7120/ PX-S7120Pの場合】



- 用紙の切断面は直角にしてください。切断面が斜めになっていたり波打ったりしていると、正常に給紙されることがあります。
- 長尺紙は排紙トレイで保持できません。箱などを準備して用紙が床面に落ちないようにしてください。
- 給排紙中の用紙に触らないでください。手を傷付けたり、印刷品質が悪くなる可能性があります。

原稿のセット (PX-M7120F/PX-M7120FP)

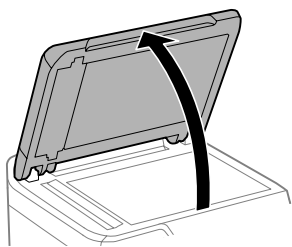
原稿台へのセット

⚠ 注意

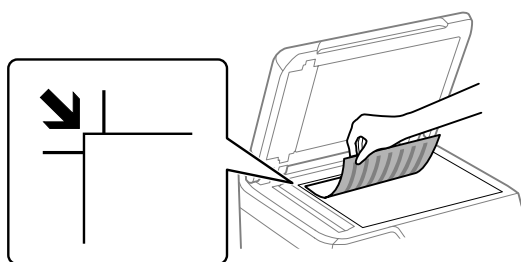
原稿カバーを閉めるときは、手や指を挟まないように注意してください。けがをするおそれがあります。

1 原稿カバーを開ける

原稿台が汚れていたら拭いてください。

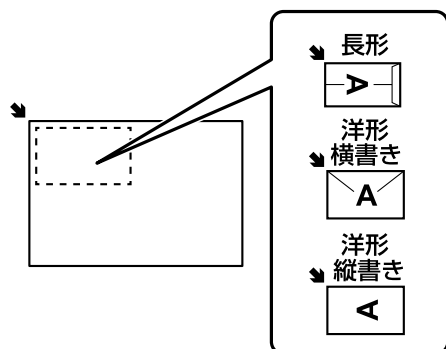


2 スキャンする面を下にして、原点マークに合わせて原稿を横向きに置く



- 上端から最大 1.5 mm、左端から最大 1.5 mm の範囲はスキャンできません。
- ADF と原稿台の両方に原稿がセットされているときは、ADF のスキャンが優先されます。

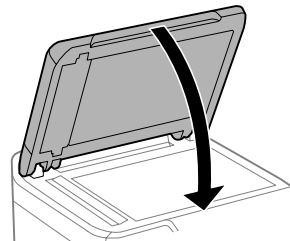
封筒をセットする場合



! 重要

封筒のふた（フラップ）は必ず閉じてください。ガラス面に接着剤が付着して画像汚れの原因になります。

3 原稿カバーをゆっくり閉める



! 重要

- 原稿台や原稿カバーに強い力をかけないでください。破損するおそれがあります。
- 原稿を強く押さえつけないでください。強く押え付けると、読み取った画像にシミやムラ、斑点が出る可能性があります。
- 本などの厚い原稿をセットするときは、原稿台に照明などの光が直接入らないようにしてください。
- 原稿の読み取りが終了したら、原稿を取り除いてください。長時間セットしたままにすると、原稿台に張り付くことがあります。

ADF へのセット

セットできる原稿は以下です。

対応原稿サイズ	A6  ~ A3  / US B (11 × 17 in.)  (最大 297 × 431.8 mm)
用紙種類	普通紙
紙厚 (坪量)	52 ~ 128 g/m ²
セット可能枚数	50 枚

ADF にセットできる原稿であっても、紙の特性や品質などによっては通紙できないことがあります。また、スキャン品質に影響を及ぼすこともあります。

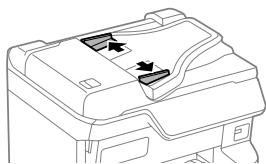
! 重要

写真や貴重な原稿は ADF にセットしないでください。通紙時に原稿がしわになったり損傷したりすることがあります。

以下のような原稿を ADF にセットすると紙詰まりの原因になります。これらの原稿は原稿台にセットしてください。

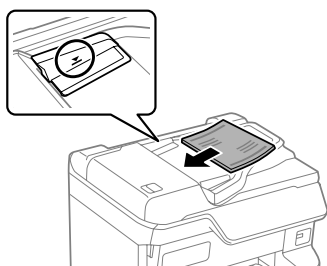
- 折り跡やしわがある、破れている、劣化している、反っている原稿
- ルーズリーフや穴の開いた原稿
- のりやホチキスの針、クリップなどが付いている原稿
- シールやラベルなどが貼られている原稿
- 形が不規則、裁断角度が直角でない原稿
- とじられて (製本されて) いる原稿
- 透明や半透明な原稿 (OHP シートなど)、感熱紙や裏カーボンのある原稿

1 ADF 原稿ガイドを広げる



2 スキャンする面を上にして原稿をセットする

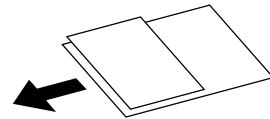
ADF 原稿ガイドの▼マークが示す線を超えてセットしないでください。



サイズ異なる原稿を一度にコピーする場合

A4 長辺と A3 短辺のように幅が同じ原稿は混在させて下図のようにセットしてください。

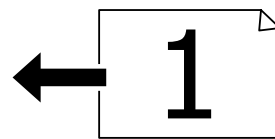
コピーの [応用設定] タブで [原稿サイズ混載] を [オン] に設定してからコピーします。



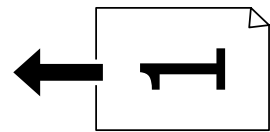
ページ集約 (割り付け) してコピーする場合

2 枚の原稿を 1 枚の用紙にコピー (割り付け) するときには原稿の向きを下図のようにセットしてください。

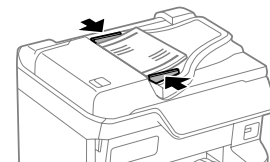
- 原稿を上向きにセット
コピーの [応用設定] タブで [ページ集約] - [2in1] を選択し、[原稿セット方向] は [読める向き] を選択します。



- 原稿を左向きにセット
コピーの [応用設定] タブで [ページ集約] - [2in1] を選択し、[原稿セット方向] は [左向き] を選択します。

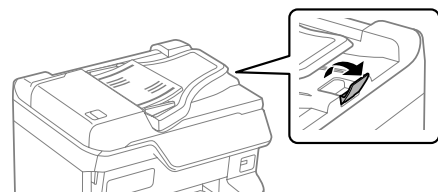


3 ADF 原稿ガイドを原稿の側面に合わせる



4 ADF 排紙トレイのストッパーを起こす

排紙された原稿がトレイから飛び出さないように受け止めます。



! 重要

スキャン中に原稿を追加しないでください。

アドレス帳の登録 (PX-M7120F/PX-M7120FP)

アドレス帳で使える機能は以下です。

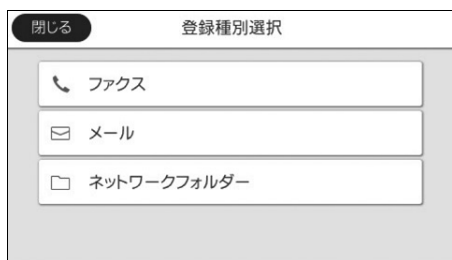
- 宛先（個人、グループ）の登録、編集、削除
- アドレス帳の宛先一覧の表示
- アドレス帳の印刷

宛先登録

① ホーム画面から [設定] - [アドレス帳管理] - [アドレス帳登録・変更] を選択する

② [宛先登録] - [宛先を作成] を選択する

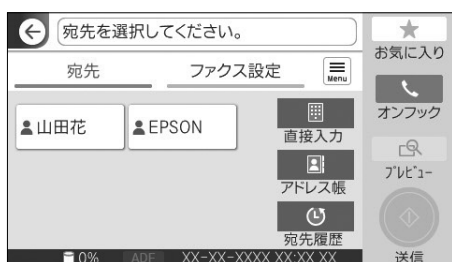
③ 登録したいアドレスの種類を選択する
種類によって、アドレス帳に登録する内容は異なります。



④ 必要な内容を登録する
必ず登録する項目は「必須項目」と表示されます。

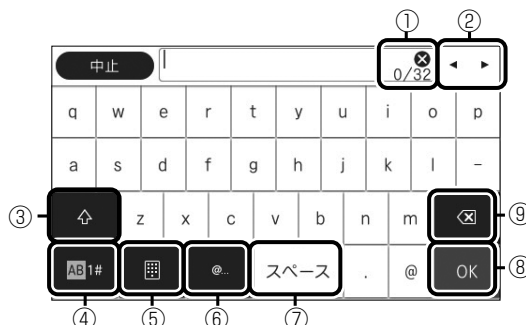


常用に設定するとファクスやスキャンの宛先タブに表示されます。



⑤ [OK] をタップする

文字の入力方法



①	入力可能な文字数が表示されます。
②	表示エリアでカーソルを移動します。
③	大文字と小文字を切り替えます。
④	文字種を切り替えます。
⑤	入力画面を切り替えます。
⑥	メールアドレスなどでよく使われるドメインが選択できます。
⑦	スペースを入れます。
⑧	確定します。
⑨	カーソルの左の文字を削除します。



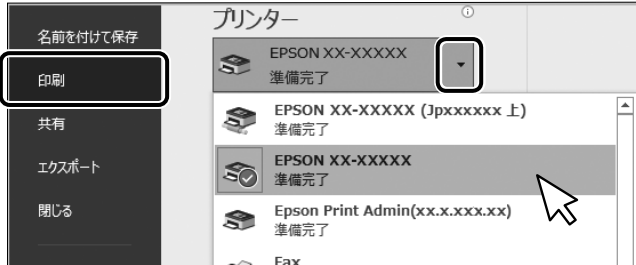
印刷

コンピューターからの印刷の流れ

アプリケーションソフトによってメニューや操作が異なります。

1

アプリケーションの印刷メニューから、プリンターを選択する



2

[プロパティ] をクリックする



プリンタードライバーの画面が開きます。

便利な印刷機能



詳しくは『ユーザズガイド』（HTML版）で検索！

#XXX (検索コード)

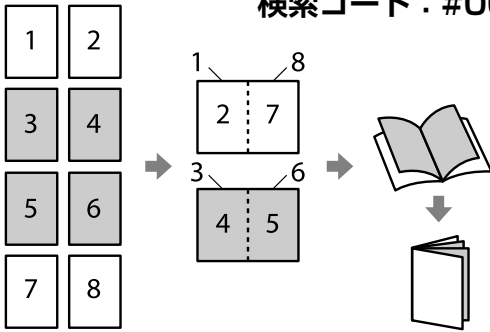
x

検索

冊子になるように印刷

ブックレット（冊子になるようにページを並び替えた）印刷ができます。

検索コード：#000



視認性を向上させて印刷

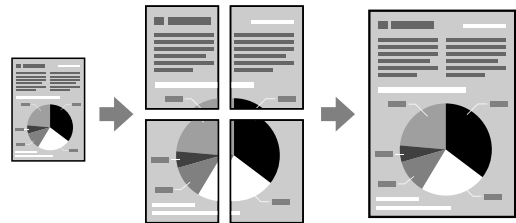
色付きの文字やグラフ、イメージデータを修飾（下線や背景を付けるなど）して視認性を高めた印刷ができます（カラーユニバーサルプリント）。

検索コード：#002

ポスターのように大きく印刷

1 ページのデータを複数の用紙に分割して印刷し、印刷した用紙を貼り合わせることでポスターのように大きく印刷できます。

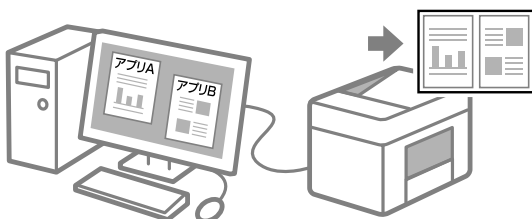
検索コード：#003



異なるデータを 1 つにまとめて印刷

異なるアプリケーションソフトで作成した複数のドキュメントを 1 つにまとめて印刷できます。

検索コード：#001



透かしを入れて印刷

任意のテキストの追加や透かしの詳細な設定もできます。

検索コード：#004



3

印刷設定して、[OK] をクリックする



4

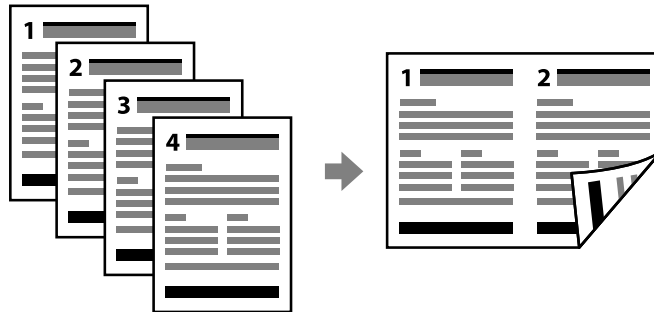
部数を設定して、
[印刷] をクリックする

ちょっとアドバイス - 用紙を節約して印刷 -

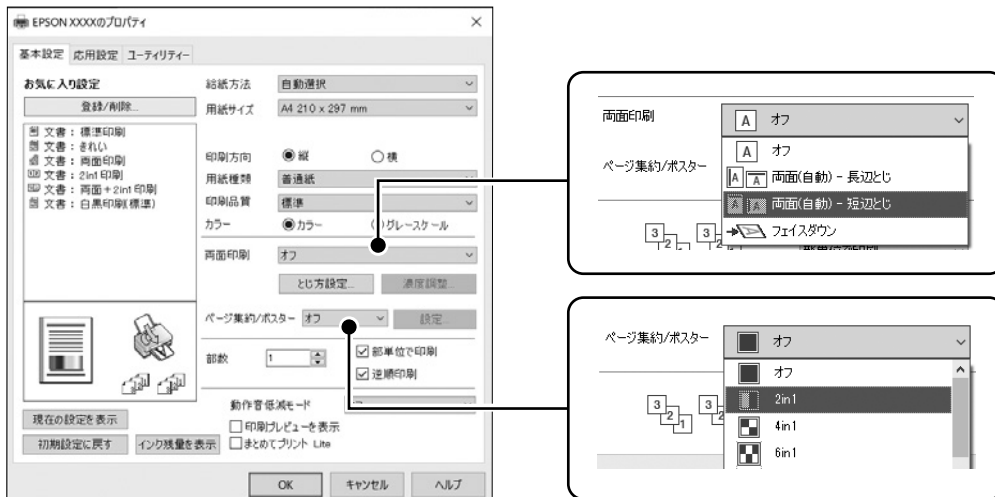
両面印刷と割り付け印刷を併用すれば、用紙を節約できます。

データ：A4、4 ページ

印刷：A4 両面、1 枚



プリンタードライバーの画面



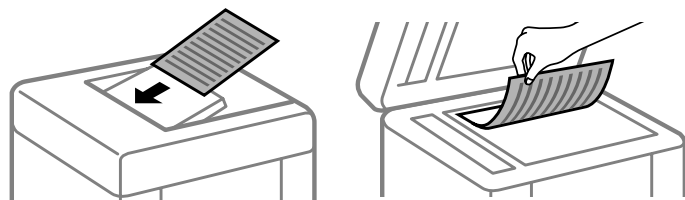


コピー

コピー操作の流れ (PX-M7120F/PX-M7120FP)

1

原稿をセットする



23 ページ「原稿のセット (PX-M7120F/PX-M7120FP)」

2

【コピー】を選択する



便利なコピー機能



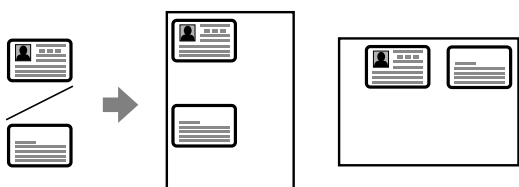
詳しくは『ユーザーズガイド』（HTML版）で検索！

#XXX (検索コード) × 🔍 検索

身分証などのカードをコピー

免許証やマイナンバーカードなどの表裏を1枚の用紙に並べてコピーできます。

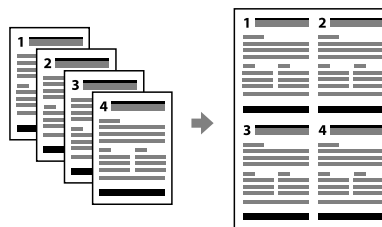
検索コード：#100



複数枚の原稿を1枚にコピー

複数枚の原稿を1枚の用紙に縮小してコピー。用紙を節約できます。

検索コード：#102



パンチ穴を消してコピー

ルーズリーフの穴やファイリングされた書類のパンチ穴を消してコピーできます。

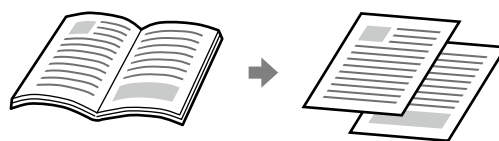
検索コード：#101



見開きの原稿を左右別々にコピー

見開き原稿を1ページずつ別々の用紙にコピーできます。

検索コード：#103

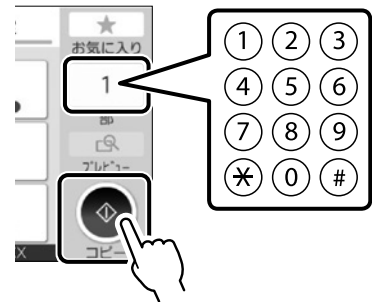


3

コピーの設定をする

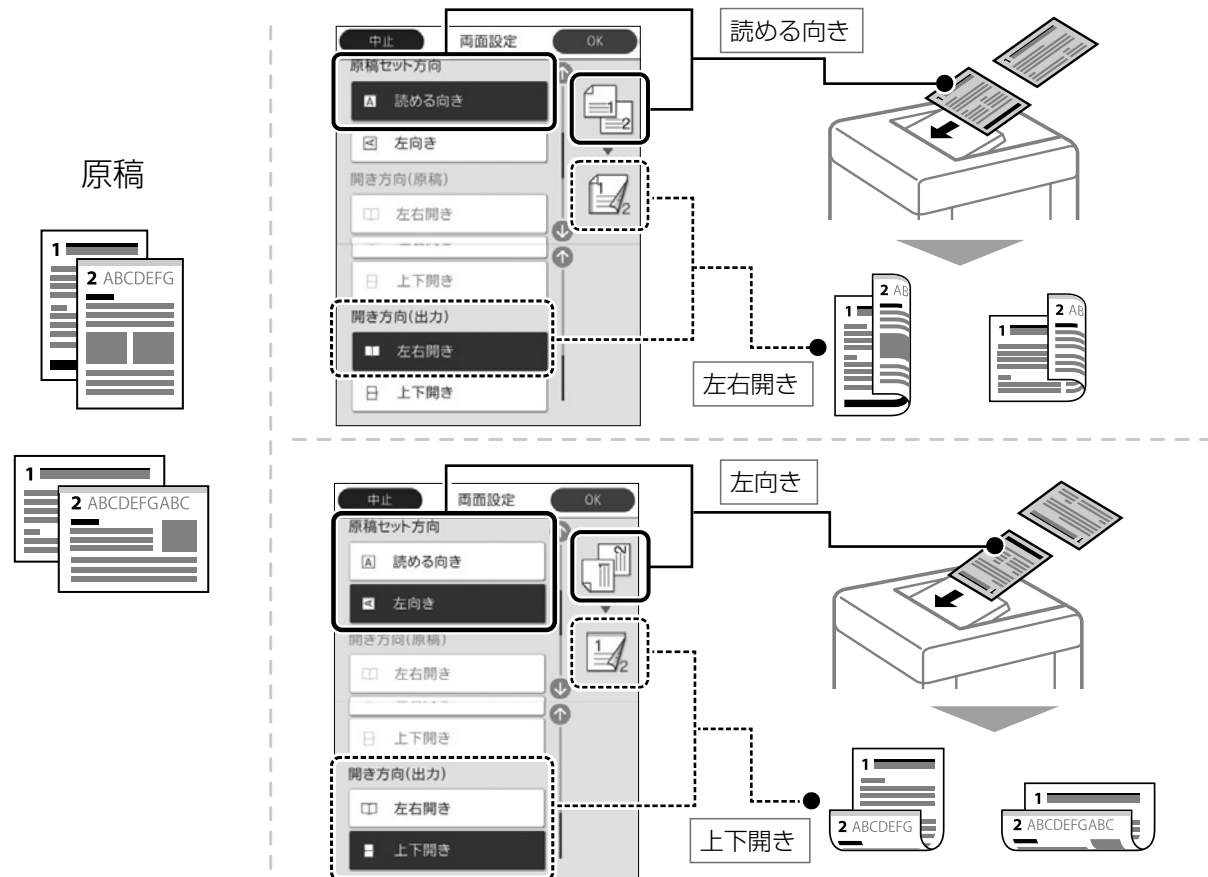


4

部数を入力して、
◇をタップする

ちょっとアドバイス - 両面コピーの設定 -

両面コピーをする場合、原稿を置く向きや、とじしろ位置の設定によってコピー結果が変わります。原稿セット方向（文字をどちらに向けて置くか）、コピー結果の開き方向（とじしろを起点にしてどちらに開くか）を設定し、画面のアイコンで向きを確認しましょう。

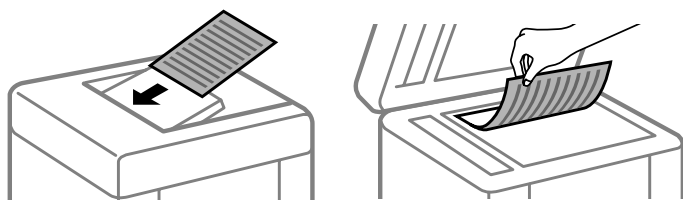




スキャン

スキャン操作の流れ (PX-M7120F/PX-M7120FP)

1 原稿をセットする



23 ページ「原稿のセット (PX-M7120F/PX-M7120FP)」

2 [スキャン] を選択して、 スキャンメニューを選ぶ



便利なスキャン機能



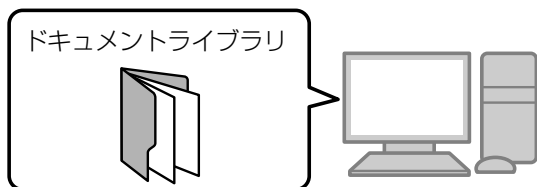
詳しくは『ユーザーズガイド』(HTML版)で検索!

#XXX (検索コード) × 🔍 検索

コンピューターに保存

スキャンデータをコンピューター上の任意のフォルダーに保存します。

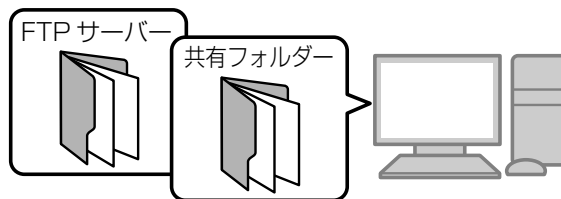
検索コード: #200



ネットワーク上のフォルダーに保存

スキャンデータをネットワーク上の指定フォルダー (共有フォルダーや FTP サーバー) に保存します。

検索コード: #203



外部メモリーに保存

スキャンデータをプリンターにセットした外部メモリーに保存します。

検索コード: #201

クラウドに転送

エプソンのクラウドサービス『Epson Connect』を使用して、スキャンデータを登録した宛先に転送します。

宛先にメールアドレスを登録すると、スキャンした画像を簡単にメールで送信できます。

検索コード: #204

メールに添付して送信

スキャンデータをメールに添付して、プリンターから直接送信します。

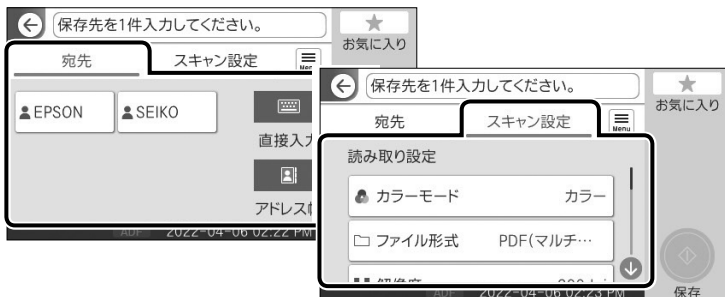
検索コード: #202

スマートデバイスからスキャン

Epson Smart Panel (スマートフォン用アプリ)からスキャンします。指定のフォルダーに保存したり、メール送信もできます。

検索コード: #205

3 保存先を指定し、必要に応じてスキャンの設定をする



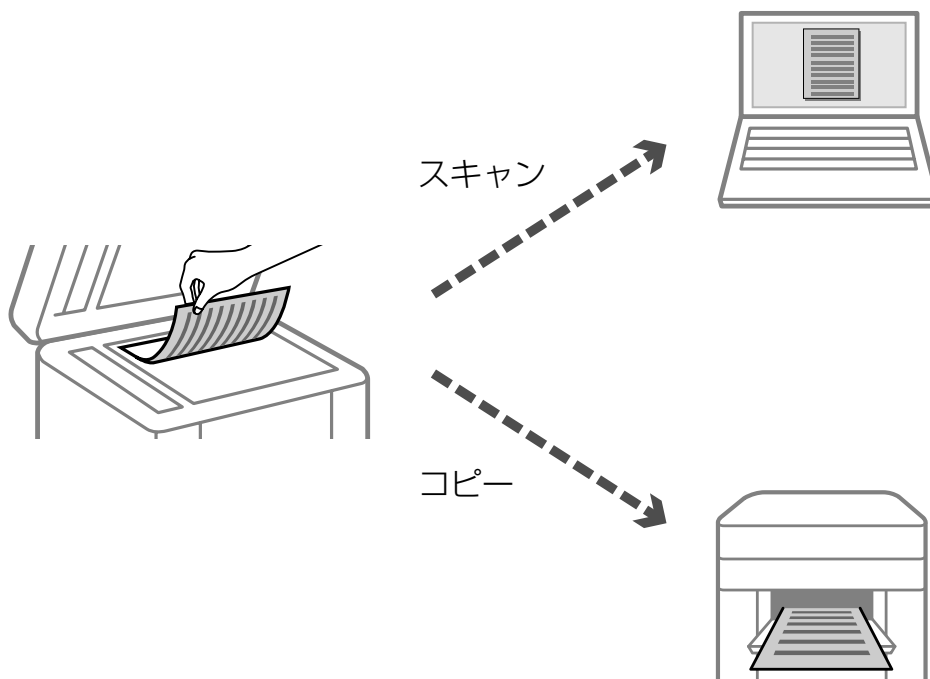
4 ◇ をタップする



ちょこっとアドバイス - スキャンって? -

スキャンは、読み取った原稿を画像ファイルなどにデータ化します。書類をデータ化することで、面倒な整理や収納場所も不要になります。また、スマートデバイスなどにまとめてらくらく持ち運びができ、外出先でもファイルを見ることができます。

コピーは、そのデータ化した画像ファイルを紙に印刷するまでの一連の作業をいいます。



スキャンの前に必要な準備

スキャン機能を使用するには、事前に保存先などの設定が必要です。

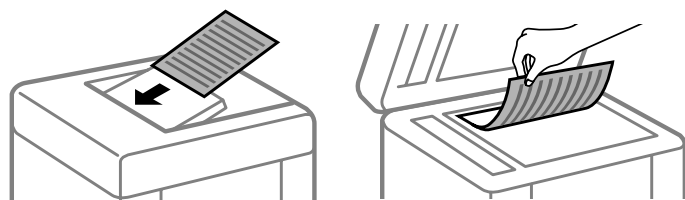
検索コード：#207



ファクス

ファクス操作の流れ (PX-M7120F/PX-M7120FP)

1 原稿をセットする



23 ページ「原稿のセット (PX-M7120F/PX-M7120FP)」

2 「ファクス」を選択する



便利なファクス機能



詳しくは『ユーザズガイド』(HTML版)で検索!



送信結果のレポートを印刷する

ファクスを送信すると、結果のレポートが印刷できます。

検索コード：#300

ファクス誤送信の防止

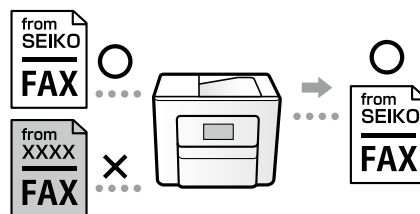
送信開始前に宛先確認画面を表示できます。

検索コード：#301

迷惑ファクスの防止

特定の宛先からのファクス受信を拒否できます。広告などの不要なファクスを受信しません。

検索コード：#302



受信ファクスを画面で確認してから印刷

通常、受信したファクスは自動で印刷されます。受信文書を保存する設定にしておくと、プリンターの画面で確認してから、印刷するか削除するかを選択できます。必要なファクスだけ印刷すれば、紙やインクが節約できます。

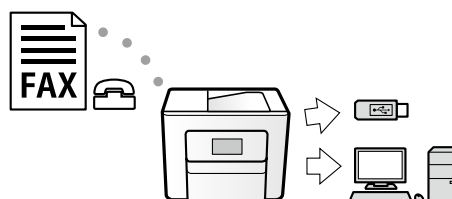
検索コード：#303



受信ファクスをコンピューターに保存

受信ファクスをコンピューター上の任意のフォルダーに保存します。ファクスを受信したことをコンピューターで確認でき、印刷もできます。

検索コード：#304



3 宛先を指定し、必要に応じてファクスの設定をする



4 ◇ をタップする



ちょっとアドバイス - 宛先の指定 -

宛先は、事前に登録されている宛先のリストから選択するか、直接入力して指定します。指定できる件数は、モノクロ送信は 200 件まで、カラー送信は 1 件のみです。

ファクスレポート印刷の設定やポーリング送信などができます。

直接入力：
宛先のファクス番号を入力します。ダイヤル中にポーズ（約 3 秒の待ち時間）を入れる場合はハイフン (-) を入力します。

アドレス帳：
アドレス帳に登録されている宛先から指定します。新規登録もできます。

宛先履歴：
履歴リストから指定します。

[宛先] タブ：
常用登録されている宛先から指定します。

Memo

消耗品の交換

インクカートリッジの交換

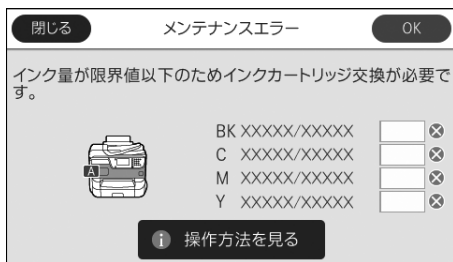
□ 交換のメッセージが表示されたときに交換する

！重要

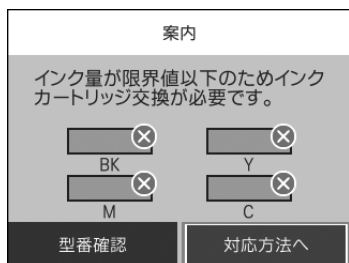
- 事前に「インクカートリッジ取り扱い上のご注意」を確認してください。
☞ 35 ページ「インクカートリッジ取り扱い上のご注意」
- 交換は速やかに行い、インクカートリッジを取り外した状態で放置しないでください。

交換のメッセージが表示されたら、プリンターの画面に表示された操作手順を見ながら交換してください。

【PX-M7120F/PX-M7120FP】



【PX-S7120/PX-S7120P】



□ 交換のメッセージが表示される前に交換する



インクカートリッジ交換のメッセージが表示される前に交換する手順は以下のとおりです。

- 1 ホーム画面でヘルプボタンをタップ（または選択）する
- 2 ヘルプ画面で「操作方法が知りたい」を選択する
- 3 「インクカートリッジを交換する」を選択する

4 操作手順の動画を見ながら交換する

取り外したインクカートリッジは再装着後、交換のメッセージが表示されるまで使用できます。

□ インク残量を確認する

インク残量は、操作パネルのホーム画面で  または  を選択して確認します。ホーム画面から「設定」-「消耗品情報」の順に選択しても確認できます。インクが少なくなっても、交換のメッセージが表示されるまで使用できます。

連続して大量に印刷するときはインク残量を確認し、事前に予備のインクカートリッジを用意してください。
☞ 36 ページ「純正インクカートリッジの型番」

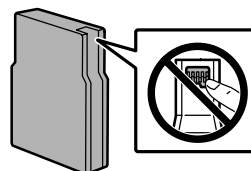
□ インクカートリッジ取り扱い上のご注意

保管時のご注意

- 直射日光を避けて保管してください。
- 高温や凍結するような環境で保管しないでください。
- 良好な印刷品質を得るために、インクカートリッジは個装箱に印刷されている推奨使用期限または装着後 6 カ月以内のいずれか早い期限までに使い切ることをお勧めします。
- インクカートリッジを寒い所に長時間保管していたときは、3 時間以上室温で放置してからお使いください。

交換時のご注意

- イラストで示した部分には触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。



- インクカートリッジを落とすなど、強い衝撃を与えないでください。インクカートリッジからインクが漏れることがあります。
- インクカートリッジは全色セットしてください。全色セットしないと印刷できません。
- インク充填中は電源を切らないでください。充填が不十分で印刷できなくなるおそれがあります。

- 使用中で取り外したインクカートリッジは、インク供給孔部にホコリが付かないように、プリンターと同じ環境で保管してください。ただし、インク供給孔内には弁があるため、ふたや栓をする必要はありません。
- 取り外したインクカートリッジはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。
- インクカートリッジはICチップでインク残量などの情報を管理しているため、使用中に取り外しても再装着して使用できます。
- 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクカートリッジ内にインクが残ります。
- インクカートリッジに再生部品を使用している場合がありますが、製品の機能および性能には影響ありません。
- インクカートリッジの外観や仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- インクカートリッジを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。

インクの消費

モノクロやグレースケール印刷の場合でも、用紙種類や印刷品質の設定によっては、カラーインクを使った混色の黒で印刷します。プリントヘッドを良好な状態に保つため、ヘッドクリーニング時などのメンテナンス動作で全色のインクが消費されます。また、電源投入時にも消費されることがあります。

□ インクカートリッジの回収と廃棄

エプソンは使用済み純正インクカートリッジの回収活動を通じ、地球環境保全と教育助成活動を推進しています。便利でお得な「引取回収サービス」で回収リサイクル活動にご協力ください。他にも郵便局での回収や、学校でのベルマーク活動による回収などのサービスがあります。回収サービスの詳細は、エプソンのウェブサイトをご覧ください。

< epson.jp/recycle/ >

一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

□ 純正インクカートリッジの型番

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

純正インクカートリッジは以下のとおりです。



画面の表示	色	型番*	
BK	ブラック	IB15KA	IB15KB
C	シアン	IB15CA	IB15CB
M	マゼンタ	IB15MA	IB15MB
Y	イエロー	IB15YA	IB15YB

*：型番の末尾がBのインクカートリッジは、末尾がAのインクカートリッジより容量が多くなっています。A番とB番は混在して使用できます。

メンテナンスボックスの交換

メンテナンスボックスは、クリーニング時や印刷時に排出される廃インクを溜める容器です。

□ 空き容量の確認

メンテナンスボックスの空き容量は、操作パネルのホーム画面で  または  を選択して確認します。ホーム画面から「設定」－「消耗品情報」の順に選択しても確認できます。

□ メンテナンスボックス取り扱い上のご注意

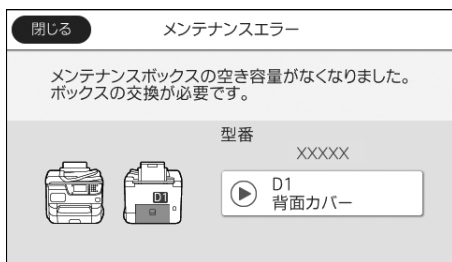
- ・メンテナンスボックスの IC チップに触らないでください。正常な動作や印刷ができなくなるおそれがあります。
- ・メンテナンスボックスは密封するまで傾けないでください。インクが漏れることがあります。
- ・高温や凍結するような環境で保管しないでください。
- ・直射日光を避けて保管してください。
- ・印刷中は交換しないでください。廃インクが漏れることがあります。

□ 交換のメッセージが表示されたら

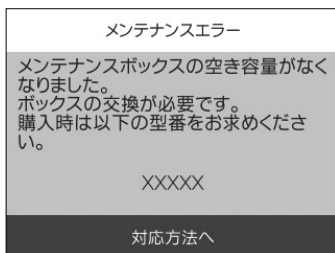
メンテナンスボックス交換のメッセージが表示されたら、プリンターの画面に表示された操作手順（動画）を見ながら交換してください。

交換のメッセージが表示されるまでは印刷できます。

【PX-M7120F/PX-M7120FP の場合】



【PX-S7120/PX-S7120P の場合】



□ メンテナンスボックスの回収と廃棄

使用済みメンテナンスボックスの回収は、「引取回収サービス」をご利用ください。回収サービスの詳細は、エプソンのウェブサイトをご覧ください。

< epson.jp/recycle/ >

一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

□ メンテナンスボックスの型番

エプソン純正品のメンテナンスボックスを使用することをお勧めします。

純正品の型番は以下のとおりです。



型番：PXMB6

困ったときは

操作パネルにメッセージが表示された

プリンターの画面にメッセージが表示されたら、画面の指示または以下の対処方法に従ってトラブルを解決してください。その他のメッセージは『ユーザズガイド』（Web）をご覧ください。

メッセージ	対処方法
プリンターエラーが発生しました。電源を入れ直してください。詳しくはマニュアルをご覧ください。 エラーコード：XXXX	プリンター内部に用紙や保護材が入っていたら取り除いてください。電源を入れ直しても同じメッセージが表示される場合は、エラーコードを控えてから、エプソンの修理窓口にご連絡ください。 エラーコード（000181、000184、000201、000204、000221、000224）が表示されていたら、用紙のセット枚数を確認してください。 ☞ 17 ページ「対应用紙とセット可能枚数・設定」
• プリンターエラーが発生しました。詳しくはマニュアルをご覧ください。印刷以外の機能は使用できません。（PX-M7120F/PX-M7120FPのみ） • プリンターエラーが発生しました。詳しくはマニュアルをご覧ください。エラーコード：XXXXXX	プリンターが故障している可能性があります。エプソンの修理窓口に修理を依頼してください。ただし PX-M7120F/PX-M7120FP は、スキャンなど、印刷以外の機能は使用できます。
XX に用紙を補充して、[OK] を押してください。	用紙を補充して、用紙カセットを奥までセットしてください。
増設カセットユニットの接続可能数を超えています。電源を切ってから接続数を減らしてください。詳しくはマニュアルをご覧ください。	増設できるカセットユニットは3段です。それ以上の増設カセットユニットは取り付けの逆の手順で取り外してください。
非対応の増設カセットユニットを接続しています。電源を切ってから取り外してください。詳しくはマニュアルをご覧ください。	非対応の増設カセットユニットを接続しています。取り付けの逆の手順で取り外してください。
XX が故障したため、印刷できません。別の給紙装置からは印刷できます。	電源を入れ直して、用紙カセットをセットし直してください。それでも同じメッセージが表示される場合は、エプソンの修理窓口にご連絡ください。
XX の給紙ローラーが交換時期に近づいています。	• 用紙カセット 定期交換部品です。交換時期に達すると、表示された用紙カセットから正しく給紙できなくなります。新しい給紙ローラーを用意してください。 • 手差しトレイ 交換時期に達すると手差しトレイから正しく給紙できなくなります。お客様自身による交換はできないため、早めにエプソンの修理窓口にご依頼ください。
XX の給紙ローラーが交換時期に達しました。給紙ローラーを交換し、カウンターリセットを行ってください。	新しい給紙ローラーと交換してください。交換後は [設定] - [プリンターのお手入れ] - [給紙ローラー情報] - [カウンターリセット] の順に選択して、給紙ローラーを交換した用紙カセットを選択してください。 給紙ローラーの交換方法は、『ユーザズガイド』（Web）をご覧ください。
手差しトレイの給紙ローラーが交換時期に達しました。詳しくはマニュアルをご覧ください。	エプソンの修理窓口に、手差しトレイの給紙ローラー交換を依頼してください。

メッセージ	対処方法
インク量が限界値以下のためインクカートリッジ交換が必要です。	プリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されています。新しいインクカートリッジと交換してください。
メンテナンスボックスの交換時期が近付いています。	メンテナンスボックスは定期交換部品です。交換のメッセージが表示されるまでは印刷できますが、空き容量がなくなると印刷できなくなります。お早めに新しいメンテナンスボックスを用意してください。
メンテナンスの時期が近付いています。お早目にエプソンの修理窓口にご相談ください。	お客様によるメンテナンスはできません。お早目にエプソンの修理窓口メンテナンスを依頼してください。
メンテナンスが必要です。エプソンの修理窓口にご相談ください。	お客様によるメンテナンスはできません。エプソンの修理窓口メンテナンスを依頼してください。
本体寿命が近づいています。	プリンターの寿命が近づいています。プリンターの寿命は、『ユーザーズガイド』(Web) をご覧ください。
本体寿命に到達しました。	プリンターの寿命です。プリンターの寿命は、『ユーザーズガイド』(Web) をご覧ください。
ファクスデータ量が上限に達したため、ファクス受信できませんでした。ホーム画面下部の[ジョブ/状態]を押し確認してください。 (PX-M7120F/PX-M7120FPのみ)	以下の理由で処理が済んでいない受信文書进行处理してください。 <ul style="list-style-type: none"> プリンターのエラーなどで印刷されていない プリンターのエラーを解除してください。エラーの内容と対処方法は、 ボタンを押して[プリンター]を選択すると確認できます。 保存先のコンピューターまたは外部メモリーに保存されていない受信文書は、 ボタンを押して [ジョブ] を選択すると確認できます。保存するには、保存先のコンピューターを起動するか、外部メモリーをプリンターに接続してください。
アドレスとサブネットマスクの組み合わせが有効ではありません。詳しくはマニュアルをご覧ください。	ホーム画面から [設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [接続診断] を実施し、診断結果を確認してください。
コンピューターでプリンターのポート設定 (IP アドレスなど) やドライバーの状態が正しいか確認してください。詳しくはマニュアルをご覧ください。	[プリンター] メニューの [プロパティ] - [ポート] で、以下の正しいポートが選択されていることを確認してください。 USB 接続 : [USBXXX] ネットワーク接続 : [EpsonNet Print Port]
コンピューターで、印刷ポートの設定や、ドライバーの状態を確認してください。詳しくはマニュアルをご覧ください。	
Recovery Mode Update Firmware	ファームウェアのアップデートに失敗したため、リカバリーモードで起動しました。以下の手順でもう一度ファームウェアをアップデートしてください。 1. コンピューターとプリンターを USB 接続します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>！重要</p> <p>リカバリーモード中はネットワーク接続できません。 USB 接続のみ可能です。USB ケーブルは USB2.0 または 3.0 の、タイプ A-B または C-B を使用します。</p> </div> 2. エプソンのウェブサイトから最新のファームウェアをダウンロードしてアップデートを開始します。

プリンターのヘルプで対処方法を見る

【PX-M7120F/PX-M7120FP の場合】



ホーム画面から ② をタップして「困ったときは」を選択すると、以下の対処方法を確認できます。

- 印刷結果がおかしい
- 原稿の読み取り結果がおかしい
- ネットワーク接続中のコンピューターから印刷できなくなった
- 用紙が汚れる、インクが付着する
- 意図しない用紙に印刷される
- USB 接続中のコンピューターから印刷できなくなった
- ファクス送信したのに相手に届かない
- ファクスランプが消えない、アイコン上に数字が表示される
- ファクス受信したのに印刷がなかなか始まらない
- ネットワークにつながらなくなった
- 無線 LAN 接続の設定方法がわからない
- 正しく排紙されない

【PX-S7120/PX-S7120P の場合】



ホーム画面から ② を選択して「困ったときは」を選択すると、以下の対処方法を確認できます。

- 印刷結果がおかしい
- ネットワーク接続中のコンピューターから印刷できなくなった
- 用紙が汚れる、インクが付着する
- 意図しない用紙に印刷される
- USB 接続中のコンピューターから印刷できなくなった
- ネットワークにつながらなくなった
- 無線 LAN 接続の設定方法がわからない
- 正しく排紙されない

印刷結果がおかしい

□ [印刷トラブル解決] を実行する

- 1 PX-M7120F/PX-M7120FP の場合： ホーム画面から [設定] を選択し、[プリンターのお手入れ] を選択する
PX-S7120/PX-S7120P の場合： ホーム画面から [プリンターのお手入れ] を選択する
- 2 [印刷トラブル解決] を選択し、[開始] を押して実行する

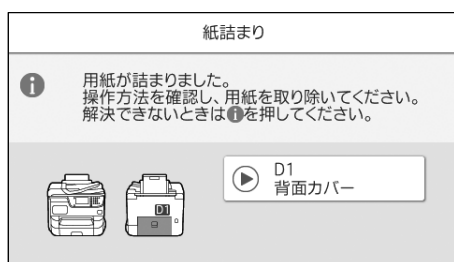
□ その他の対処方法を確認する

- 1 ホーム画面から ② - [困ったときは] の順に選択する
- 2 [印刷結果がおかしい] を選択する
- 3 [その他の対処方法] を選択する
- 4 トラブルの内容を選択し、画面の指示に従って対処する

詰まった用紙を取り除く

プリンターの画面に表示された指示に従って用紙を取り除いてください。

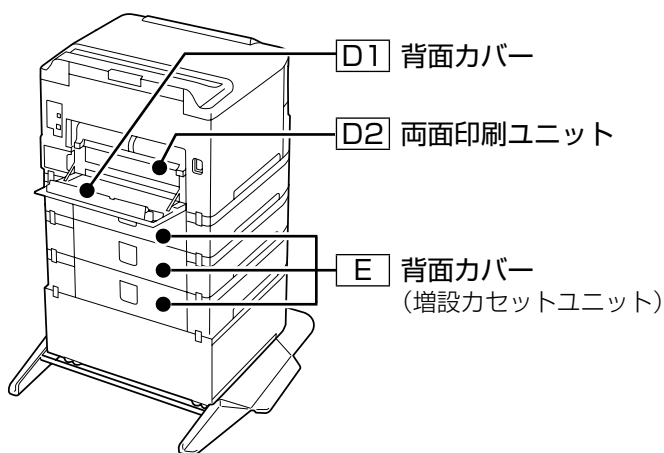
【PX-M7120F/PX-M7120FP の場合】



【PX-S7120/PX-S7120P の場合】



プリンター背面で用紙が詰まる箇所



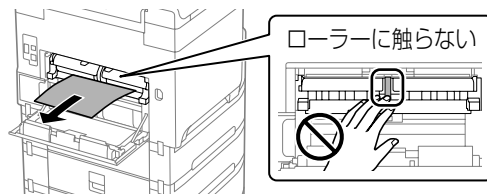
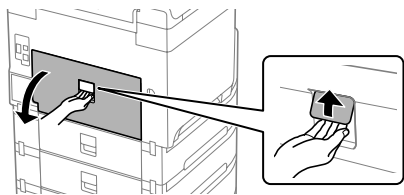
(イラストはPX-S7120)

【紙詰まり】の考えられる原因

- 用紙が正しくセットされていない
- 非対応の用紙を使用している
- 用紙の量が多い
- 紙片や異物がある

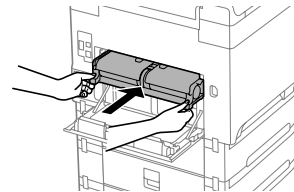
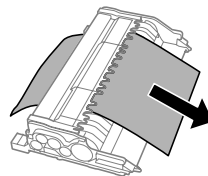
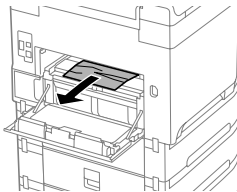
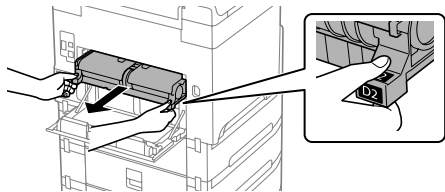
□ [D1] と表示されたら

- 1 背面カバー（D1）を開ける
- 2 紙を取り除く



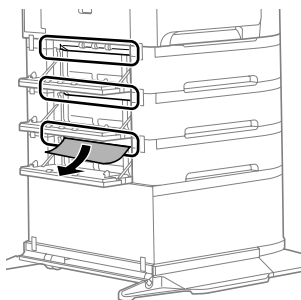
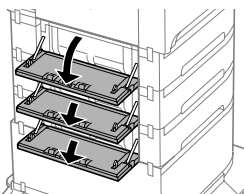
□ [D2] と表示されたら

- 1 背面カバー（D1）を開けて両面印刷ユニット（D2）を取り外す
- 2 紙を取り除く
- 3 両面印刷ユニットから紙を取り除く
- 4 両面印刷ユニットを戻す



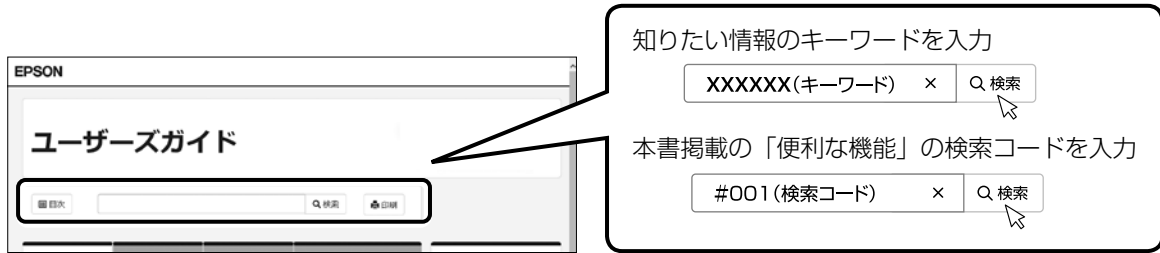
□ [E] と表示されたら

- 1 背面カバー（E）を全て開ける
- 2 紙を取り除く



使い方が分からない、便利な使い方が知りたい

『ユーザーズガイド』（Web）では、プリンターの使い方や便利な機能、管理者向けの情報など詳しく説明しています。ウェブで閲覧する HTML 版とダウンロード可能な PDF 版があります。HTML 版では知りたい情報をキーワードや検索コードで検索できます。



『ユーザーズガイド』は、epson.sn（ウェブサイト）の [サポート] からご覧ください。

[🔗](#) 2 ページ「マニュアルのご案内」

その他のトラブル

その他のトラブル対処法は、『ユーザーズガイド』（Web）の「困ったときは」またはウェブサイト < epson.jp/faq/ > の「よくある質問（FAQ）」をご覧ください。

Memo

サービスとサポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートについては、52 ページの「お問い合わせ先」をご覧ください。

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年）、出張修理いたします。また、修理のご依頼や故障がどうかわからない場合のご相談等の受付窓口として、専用のヘルプデスクをご用意いたします。

- スピーディーな対応 – スポット出張修理依頼に比べて優先的にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心 – トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣して修理いたします。
- 手続きが簡単 – ウェブサイトで必要事項を登録、またはエプソンサービスパック登録書をファクスするだけで、契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化 – エプソンサービスパック規約内・期間内であれば都度修理費用がかからず、維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、まず本書の「困ったときは」のトラブル対処方法を確認してください。それでも解決しないときは、保守サービスの受付窓口にお問い合わせください。

□ 保証書について

保証期間中に故障した場合には、保証書の記載内容に基づき修理いたします。保証期間や保証事項については、保証書をご覧ください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証書と共に、購入の証憑（領収書、納品書等）となるものを添付のうえご提示ください。

保証書は大切に保管してください。

□ 補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 10 年間です。

予告なく外観や仕様、補修用性能部品および消耗品の保有期間などを変更することがあります。

□ 保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約をお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- 修理のお申し込み窓口

☎ 47 ページ「お問い合わせ先」

□ 保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細は、お買い求めの販売店またはエプソン修理のお申し込み窓口までお問い合わせください。

- 定期交換部品の寿命による交換は、保証内外を問わず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。
- 年間保守契約をされている場合は、定期交換部品代のみ有償（お客様交換可能な定期交換部品の場合は、出張基本料・技術料も有償）です。
- 本機は、専門業者による輸送対象製品のため、持込保守および持込修理はご遠慮ください。

種類		概要	修理代金と支払方法	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張修理	<ul style="list-style-type: none"> • 優先的にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。 • 修理の都度発生する修理代・部品代*が無償のため、予算化ができて便利です。 • 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 	無償	年間一定の保守料金
スポット出張修理		お客様からご連絡いただいて数日以内にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。	無償	有償（出張料＋技術料＋部品代） 修理完了後、その都度お支払いください

*: 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外です。

！重要

- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。
- 本製品の故障や修理の内容によっては、製品本体に保存されているデータや設定情報が消失または破損することがあります。また、お使いの環境によっては、ネットワーク接続などの設定をお客様に設定し直していただくこととなります。これに関して弊社は保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。データや設定情報は、必要に応じてバックアップするかメモを取るなどして保存することをお勧めします。

お問い合わせ先

アフターサポート・サービスのご案内

お問い合わせの前に



サポート情報サイト

最新ソフトウェア、製品マニュアルなど、製品のサポート情報満載のサイトです。

epson.jp/support/



FAQ（よくあるご質問）

困ったときの対処方法を分かり易く説明しています。

epson.jp/faq/



製品に関するご質問・ご相談/運用支援

営業日、営業時間、有料サービスの詳細はサポート情報サイトでご確認ください。



LINEまたはWebチャットで相談する

自動応答は
24時間365日
いつでも受付



epson.jp/linespm/



メールで相談する

epson.jp/mail/



電話で相談する

エプソンインフォメーションセンター

050-3155-8700

有料サービスのご案内

お客様のパソコンを遠隔で確認してのサポートや、スタッフがご自宅にお伺いし、製品の使い方をレクチャーするサービスもございます。

epson.jp/assist/

修理のお申し込み

対象製品など修理メニューの詳細はウェブサイトでご確認ください。

epson.jp/shuri/



出張修理サービス

ご指定の場所へサービスエンジニアを派遣し、その場で修理するサービスです。

Webで申し込む
epson.jp/119/

電話で申し込む
050-3155-8600



引取修理サービス

ご指定の日時・場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです（有償）。

Webで申し込む
epson.jp/door/

電話で申し込む
050-3155-7150



消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店またはエプソンダイレクトショップでお買い求めください。



エプソンダイレクトショップ
epson.jp/shop/



ご購入相談・ご注文窓口
0120-956-285

会員制情報提供サイト(MyEPSON)

ユーザー登録していただくと、お客様に商品の最新情報や活用のためのヒントをお届けいたします。

myepson.jp/

ショールーム

最新のエプソン商品を実際にお試しいただけます。

epson.jp/showall/



上記 050 で始まる電話番号は KDDI 株式会社の電話サービス KDDI 光ダイレクトを利用しています。本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

エプソン販売株式会社
セイコーエプソン株式会社

〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー
〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号

ビジネス(BIJ) 2022.03

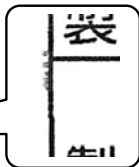
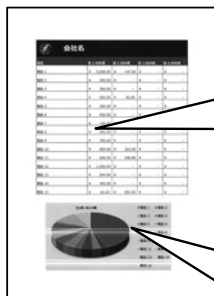
よくあるお問い合わせ

～ お問い合わせの前にご確認ください～

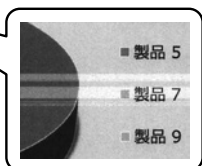
印刷結果がおかしい

🔗 41 ページ

罫線がガタガタ、
ぼやける

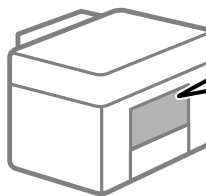


スジが入る、かすれる



プリンターエラーの
メッセージが表示された

🔗 38 ページ

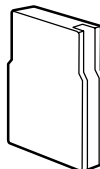


エラー発生!

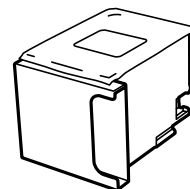
消耗品を交換したい

🔗 35 ページ

インクカートリッジ

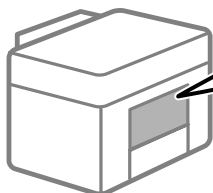


メンテナンスボックス



用紙が詰まった

🔗 41 ページ



紙詰まり

その他知りたい情報は

『ユーザーズガイド』（HTML 版）で検索してく
ださい。

🔗 2 ページ

LINE や Web チャットでかんたんお問い合わせ

自動応答は 24 時間、365 日いつでも受付



スマートデバイスは
こちらからアクセス!

コンピューターは
以下の URL からアクセス!
epson.jp/linespm/

その他のサービス・サポート 🔗 47 ページ「お問い合わせ先」



414527300

© 2024 Seiko Epson Corporation
2024 年 6 月発行
Printed in XXXXXX